

やらんば！平戸

ひと(HITO) 響きあう 宝島 平戸

広報 ひらど

Hirado City Public Relations



今まで、ありがとう。
さようなら「獅子小学校」
最後の卒業生へ

Contents

特集・さようなら獅子小学校	▶ 02	みんなの図書館	▶ 28
特集・予算で見る平成22年度の仕事	▶ 06	市長体験記・HIRADO X-change	▶ 29
平戸特選素材①	▶ 12	春のイベントインフォメーション	▶ 30
まちのできごと	▶ 14	学びの達人	▶ 31
スポーツ表彰・がんばれ平戸のアスリート	▶ 16	市民の気を応援します	▶ 32
まちのひとびと	▶ 18	特集・組織再編	▶ 34
市民の声&読者プレゼントコーナー	▶ 20	平戸市からのお知らせ	▶ 38
平戸遺産～県指定文化財～	▶ 22	情報ひろば	▶ 42
Happy子育て応援隊	▶ 24	人口の動き・編集室からひとこと	▶ 44

2010 April 4 平成22年 No.055

Hirado City Public Relations

Hirado city Public Relations
2010.4 No.55
広報ひらど 平成22年4月号

大豆油インキを使用しています。

編集・発行 平戸市市長公室 〒859-5192 長崎県平戸市岩の上町1-508番地3
TEL/0950-22-4111(代) FAX/0950-22-2419
URL http://www.city.hirado.nagasaki.jp E-mail kouhou@city.hirado.lg.jp
印刷/有限会社ケンホクプリント

家族揃って 出かけよう!

Event information on spring

第33回たびら春まつり

4月24日25日

平戸市役所田平支所一帯

地元の畜産農家が大切に育てた「田平産牛(長崎和牛)」の牛肉や農水産加工品、日用雑貨などが販売される総合物産展です。太鼓の競演やダンスカーニバルなど楽しいイベントがいっぱいです。ぜひご家族揃ってお越しください。

EVENT INFORMATION

- | | |
|---|--|
| 4月24日(土) 10:00~17:00
◎ステージイベント
・田平中学校プラスバンド部演奏
・平戸口社会館「わんぱく太鼓」披露
・猶興館高校ダンス同好会「ダンス」披露
・「食べて当てよう! 田平産米」
・「目方でドンと当ててみよう!」
・漁協壮年部イベント「魚のつかみ取り」(有料)
・「帰って来た!ヒラドシマン」
◎関連イベント
・お楽しみわくわく抽選会(両日)
・田平産牛肉(長崎和牛)販売(両日・11時から)
・里田原歴史民俗資料館無料開放(両日) | 4月25日(日) 10:00~16:00
◎ステージイベント
・太鼓競演(皆瀬太鼓・権現太鼓)
・職人組合イベント「すのこ作り大会」
・バイク(自転車)トライアル
・ダンスカーニバル
・つばきスタンプクラブイベント「ビンゴゲーム」
◎関連イベント
・包丁研ぎ・まな板削り(無料)
・「竹細工体験」・カブトムシ作り
●お問い合わせ
田平支所産業建設課 ☎内線5155 |
|---|--|



第7回アサリ!どっさり!潮干狩り大会 in千里ヶ浜

千里ヶ浜海水浴場

4月25日 13:00~15:30

今年は、リニューアルした千里ヶ浜海水浴場に変更して開催します。例年、砂浜が参加者でいっぱいになる人気イベント。会場では、海鮮バーベキューも楽しめますので、ぜひ家族揃ってお越しください。



- ◎潮干狩り入漁料【幼児は無料です。】
 - ・大人(中学生以上) 1,000円/人
 - ・子ども(小学生) 500円/人
 - ◎海鮮バーベキュー【11:00～、焼き台60セット(300席分用意)】
 - ・基本セット; 1皿1,000円(サザエ、イカ、アジの開きなど)
 - ・中野漁協出張直売所も同時オープン(イカ焼き、川内かまぼこなど)
- ※木炭(軍手片方付き)は別売りです。1袋200円(焼き台使用料込)
●お問い合わせ 中野漁業協同組合 ☎24-2221

◎今月の表紙

3月18日、獅子小学校最後の卒業式が行われました。明治14年に創設され、ピーク時の児童数は314人。平成21年度は、17人となりました。これまでの卒業生は、今回の5人の卒業生を合わせて3,338人を数えています。5人の卒業生は、卒業証書授与の後に、1人ひとり将来の夢を力強く発表しました。



◎人口の動き

- 平戸市人口/36,763人(-20)
- 男性/17,218人(-1)
- 女性/19,545人(-19)
- 世帯数 14,430戸(0)

※()は、前月との比較
平成22年3月1日現在

みんなで止めよう温暖化
チーム・マイナス6%
平戸市役所も参加しています。

Editorial

編集室からひとこと

平戸特選素材のコーナーでアスパラガスの取材をさせていただきました。広い畑には、多くのビニールハウスが連なり、そこで初めて収穫作業を体験しました。アスパラガスをはじめ多くの食材は、季節を問わず食べることが出来ます。いつでも食べれるからこそ、食材の「旬」を忘れてしまいます。旬の食材は、おいしく、さらに栄養も豊富です。「旬」の食材を食べて、元気を付けましょう。

今月号では、獅子小学校の閉校について掲載しました。地域にとって、コミュニティの拠点の中心として存在していた学校が無くなることは、大変寂しいことです。全国各地でも少子化などにより閉校が相次いでいますが、校舎をさまざまな形で再利用する試みが各地でなされています。今こそ、地域で一体となって知恵を出して、地域の活力を取り戻すための有効利用ができたらと思います。

獅子小学校129年の沿革史

明治	14	紐差小学校獅子分校創立
	16	獅子簡易小学校と改称
	23	獅子尋常小学校と改称
	45	春日分教場設置
大正	5	高等科設置
昭和	16	獅子村獅子国民学校と改称
	22	獅子村立獅子小学校と改称
	30	町村合併により、平戸市立獅子小学校と改称
	43	鉄筋校舎竣工
	52	運動場竣工
	53	体育館竣工
	55	創立百周年記念式典
	57	春日分校廃校
	57	アスレチック完成
	57	県指定算数教育研究発表会
平成	60	読売教育受賞(算数)
	62	旧校舎解体
	5	学校園完成
	5	全国へき地教育研究大会 長崎県大会(算数科研究発表)
	20	県PTA表彰
	21	西日本読書感想画コンクール 努力校賞
	21	閉校記念式典(3月20日)



- ① 参加者300人全員で、最後の獅子小学校校歌を斉唱。さまざまな思い出を浮かべながら惜別の涙を流す参加者も見られました。
- ② 吉居教育長(左)に校旗を返納する森校長(右)。この時をもって、獅子小学校129年の歴史に幕を閉じました。
- ③ 式典終了後は、校庭脇に建てられた記念碑の除幕式も行われました。式の最後には、第36代校長の今村光興さん(長崎市)が、当時の獅子小学校児童の陸上大会での活躍などの思い出を語りました。

獅子小学校校歌

作詞 小原 寅吉
作曲 金窪 良輔

異国の文華 さきそめし
ゆかりも深き 平戸島
島の中央に そびえたつ
安満岳の 空高く
希望の光 仰ぎつつ
いざや登らん 文の峰

潮路はるかに 西のかた
漁船もにぎわしく
遠近島の 影あやに
夕陽に映ゆる 港あり
渚の水を鏡とし
いざや磨かん 吾が心



DETA

- 校長 森 宏
- 児童数 17人
- ところ 獅子町782番地
- 創立 明治14年

獅子小学校



ありがとう。多くの思い出とともに、
受け継がれてきた「獅子魂」
地域の人と一緒に129年の歴史を閉じる。



Message



校長 森 宏
Mori Hiroshi

しかし、子どもたちは、統合先の紐差小学校で多くの友だちを作って、みんなで勉強に運動に切磋琢磨し、獅子魂を持って励んでもらいたいと思っています。

地域の教育と文化の中心の獅子小学校が無くなることは大変残念です。

地域に育てられた獅子小学校

長い獅子小学校の歴史の中で、地域のみなさんご協力などのおかげで、良い方向へ発展していき、今の獅子小学校があると思います。

地域での米作りなど、いち早く体験学習などを取り入れ地域と一緒に学び、地域と一体となって活動を行いました。まさに、「地域に育てられた学校」と思います。

児童数が減少する中、PTAや地域のみなさんが、子どもたちは多くの児童の中で切磋琢磨しながら育てていくことが、良い方向だと判断されたことは、子どもを中心に思ったすばらしい決断だったと思います。



閉校にあたり、獅子小学校閉校委員会が作成した記念誌。多くの思い出が綴られています。

獅子小学校は、明治14年に紐差小学校の獅子分校として創立。以来、地域のみなさんに愛され、129年の歴史を刻み、3,338人が巣立っています。

この間、算数の自主研究を行い、10年間毎年研究発表を実施。その取り組みにより昭和60年には、読売教育賞を受賞するなど輝かしい歴史があります。

3月20日に行われた獅子小学校閉校式には、全校児童17人、保護者、教職員、関係者、地域のみなさんなど約300人が出席しました。

式では、森校長、黒田市長、吉居教育長の式辞、松山閉校委員会委員長と辻PTA会長が挨拶を述べました。その後、児童代表の米倉千賀さんが児童代表として獅子小学校での思い出を発表しました。

全校児童の合唱で、獅子小学校の思い出を歌詞にした「閉校の歌」を披露すると、会場では惜別の涙に包まれました。

最後に、森校長が吉居教育長に校旗を返納し、地域と共に歩んだ129年の歴史に幕を閉じました。



「獅子魂」の伝統を大切に引き継いで

**大好きな獅子小学校
たくさん思い出を
ありがとう**

獅子小学校は、今日までたくさんの子どもたちを見守り育ててくれました。友だちや先生と一緒に学習した教室、元気な声が響いた体育館や運動場。昼休みに全校で行った仲良し遊びや芝生でした鬼ごっこ。みんなで田植えをした春。ひまわりの花を咲かせた夏。運動会をした秋。いっぱいいっぱい、ふれあいがありました。私たちは、獅子小学校の長い歴史の中で、「最後までがんばる心」、「周りの人への思いやりの心」、「あいさつの大切さ」を学びました。

今まで私たちが温かく包みこんでくれた獅子小学校。ありがとうございます。大好きな大好きな獅子小学校。たくさん思い出をありがとうございました。

児童代表
米倉 千賀さん
Yonekura Chika

再び子どもが増えることを望んで

獅子小学校は、129年間の長きにわたり、子どもたちの教育の場として、子どもたちと老人会などの地域の交流の場として大きな役割を担っていました。その灯りが消えることは複雑な気持ちです。私が通っていたときの獅子小学校には300人ほどの児童がいました。その後の少子化で17人の児童となり、閉校に至りました。



閉校委員会
委員長
松山 矢市さん
Matsuyama Yachi

地域の代表としては、地域を出た若い人たちを呼び戻し、再び子どもが増えることを望んでいます。これから紐差小学校に通う子どもたちには、獅子魂を忘れることなくのびのびと勉学に励んでください。

獅子魂を忘れずに、しっかりがんばってください

昭和30年には、200人を越える児童がいましたが、過疎化少子化の影響を受け、年々、児童数が減少し閉校に至りました。貴重な地域の歴史と文化が一度に無くなり残念なような気もしますが、子どものことを考えると多くの児童の中で自らの力で努力して欲しいという親心があります。



P T A 会長
辻 倉幸さん
Tsuji Fuyuki

子どもたちは、紐差小学校に行ったら、最初は戸惑うと思いますが、多くの友だちを作って欲しいと思います。そして、獅子小学校で学んだことや獅子魂を忘れずに、しっかり運動や勉強をがんばってほしいと思っています。

最後の「運動会」が一番の思い出



尾崎 洋美さん
Osaki Hirumi

獅子小学校の思い出は、みんなで応援合戦をした最後の運動会、長崎市での修学旅行などたくさんあります。この小学校でいろいろ学んだことを活かして、中学校でも勉強や部活にがんばりたいです。

すばらしい景勝地にある獅子小



尾崎 俊光さん
Osaki Teshimitsu

獅子小学校は、安満岳を背に、前には夕日が映えるなど、教育の場所としてどこにもない良い場所です。またいつか、子どもたちが多く生まれ、獅子小学校が再度設置されることを夢見ています。



獅子小学校の思い出

紐差小でいっぱい友だちを作りたい



濱田 怜奈さん
Yamada Rena

運動会での踊りやダンスで、地域の人たちから、大きな声での応援や拍手されたりしたことが思い出に残っています。紐差小学校に行ったら、友だちをいっぱい作って、勉強やサッカーをがんばりたいです。

思い出の母校の閉校は大変寂しい



濱田 茂さん
Yamada Shigeru

思い出の詰まった学校が無くなり、子どもたちの学校でのにぎやかな声が消えることは大変寂しいです。獅子小学校に通っていたときのことは、運動会、遠足、恩師との思い出など限りがありません。

たくさんの友だちを作って欲しい



濱田 フサ子さん
Yamada Fusako

昭和20年に入学したときは、古い木造校舎で、学校までの道のりを裸足で通っていたことを思い出します。閉校は悲しいことですが、孫のことを考えれば、友だちが増えるので良かったと思っています。

獅子小学校は、129年もの長きにわたり、獅子地区・春日地区・高越地区の子どもたちの教育の場としてはもとより、地域のみなさんの文化や生活の中心として、共に歩んできた学校です。みなさんには、この学校でのたくさんの思い出が、刻まれていることと思います。

しかし、過疎化・少子高齢化の進展が著しく、人口減少に伴って児童数も減少しています。この獅子小学校も例外ではなく、全校児童が17人となり、残念ながら将来的にも増加が望めず、子どもたちの学力保障と人格形成の両面から考慮し、閉校して紐差小学校と統合する決断をいただきました。

地域の要である学校が閉校することは、大変残念なことではあります。しかし、これから成長していく子どもたちの、夢と希望に満ちあふれた未来に向けての有意義な選択であったと評価していただけるよう、市といたしましても、校舎跡地の活用、スクールバスの運行、また、受け入れ先の紐差小学校の教育環境の整備などを進めているところです。

在校生や卒業生のみなさん、母校で過ごした楽しい思い出を、かけがえのない宝物としていつまでも心に残

獅子小学校は、明治14年の開校以来、129年間の歴史を積み重ね、これまで3,338名の卒業生を輩出し、この獅子地域はもちろん、全国各地さまざまところで活躍しています。

私は、昭和58年から62年の4年間、獅子小学校に勤めていました。その時は、閉校になるということは、全く予想していませんでした。少子化がここまで進むことは、その当時、及びもつかないことでした。時代の変化とはいえ寂しさが止め処もなくあふれてきます。

次代を担うたくましい人材の育成のためには、閉校やむなしと決断された地域のみなさんのご心中を察します時、複雑な気持ちで一杯です。

子どもたちが新しい学校に早く慣れ、大勢の人数の中で、人間としての基礎をしっかり培えるよう行政として懸命の努力をしたいと存じます。

獅子小学校での出来事で誇りに思うことがあります。昭和55年から3年間、県教育委員会の指定を受け、算数の研究発表を行いました。その後も、自主研究を続け、10年間毎年公開研究発表を行ってきました。

特に、昭和60年には、全国で各教科・領域で優秀な

獅子小学校校歌

「いざや磨かん
わが心」は
みなさんを導く道標



Messages Huroda Naruhiko 市長 黒田 成彦

して誇りと自信を持ち、自分の夢に向かって一步一步前進してください。校歌にある「いざや磨かんわが心」は、いつまでもみなさんを導いていく道標となっていくことでしょう。豊かな心と感性を磨き、これからの平戸を支えていく人材が、この地区から数多く育っていくことを期待しております。

市としましても、子どもたちが、「平戸に生まれて良かった。平戸に住んで良かった」と、このふるさとに自信と誇りを持つことができるまちづくり・人づくりに向け、市民のみなさんと力を合わせて取り組んでいきます。

最後に、地域の子どもたちを温かく見守っていただきますようお願い申し上げます。

困難に負けることなく立ち向かう「獅子魂」は、永遠に不滅であって欲しいと思います。



Messages Yoshii Tatsumi 教育長 吉居 辰美

団体などを表彰する権威ある「読売教育賞」の最優秀賞を受賞しました。審査をされた先生が私共の論文を読み、「感動した」という感想を書かれていました。

その言葉は、今も私の心に残っています。この最優秀賞を受賞した学校は、長崎県には例がなく、受賞できたことを本当に誇りに思います。

あの当時は、「獅子魂」という言葉を合言葉にしていました。この「獅子魂」は、少しぐらい困難なことがあっても負けることなく立ち向かい、自分を高めていこうというものであります。

獅子小学校は閉校されますが、「獅子魂」は、永遠に不滅であってほしいと思います。

まちづくりに使うお金

平成22年度の当初予算が、平成22年3月市議会定例会で可決されました。
市の予算は、市民のみなさんと行政が一体となってまちづくりに取り組んでいくためのもので、その予算の内容について説明します。

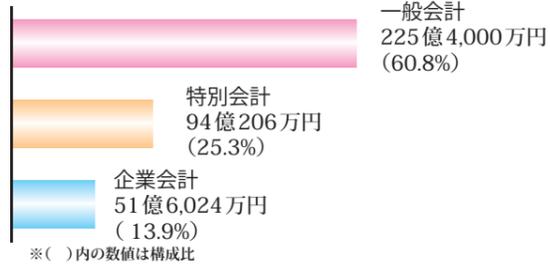
当初予算総額は**371億円** 市民1人当たり**101万円**

■予算とは？

市の1年間の収入と支出の計画であり、家計に例えると「1年間の収入がいくらで、何にどれくらい使うか」というものを示したものです。家庭でいう給料などの収入を「歳入」、食費や生活費などの支出を「歳出」といいます。

市の予算は大きく分けて、「一般会計」、「特別会計」、「企業会計」の3つの予算に分かれています。

会計別グラフ



01 一般会計予算

225億4,000万円 (対前年度比5.1%増)

福祉事業、ごみ処理、学校教育、道路整備、消防などに使うお金をまとめた予算です。市の基本的な仕事をする会計で、大部分がこの一般会計予算に含まれています。

(※一般会計の詳しい内容は、P 8、9をご覧ください。)

02 特別会計予算

94億206万円 (対前年度比2.8%増)

一般会計とは切り離して特定の事業ごとに経理する予算です。国民健康保険や農業集落排水事業など、主に保険料や使用料など、特定の収入で事業を実施します。市では8つの特別会計を設置しています。

会計名	予算額	対前年度比
国民健康保険	55億4,755万円	-0.2%
老人保健	157万円	-72.4%
後期高齢者医療	3億7,589万円	-1.1%
介護保険	34億 907万円	9.5%
農業集落排水事業	2,238万円	-4.3%
宅地開発事業	1,214万円	0.0%
あづち大島いさりびの里事業	1,361万円	-62.3%
電気事業	1,985万円	1.5%

03 企業会計予算

51億6,024万円 (対前年度比8.2%減)

独立採算といった民間企業に似たような仕事をする予算です。市では3つの企業会計を設置しています。

会計名	予算額	対前年度比
水道事業	22億6,051万円	-21.2%
病院事業	27億2,601万円	5.4%
交通船事業	1億7,372万円	3.8%



▲水の安定供給のための事業を行う水道事業。写真は、平成23年4月から給水を行う阿奈田ダム(大川原町)



▲地域医療を担っている病院事業



▲大島との交通手段を確保している交通船事業

市の基礎を築く予算がスタート

市のまちづくりの設計書といえる市の予算
平成22年3月平戸市議会定例会で
黒田市長が新年度の「施政方針」を発表しました。
その内容から市政の目指す方向性と取り組みを紹介します。



■予算編成方針

「平戸市総合計画」の将来像の実現を念頭に置き、私が市民のみなさんに提示したマニフェストの初年度としての位置づけとなるよう心掛けたところです。

その基本方針として、本市が有する豊かな自然や歴史文化などをさらに磨き上げ、全国に誇れる観光経済都市の構築に努めるとともに、『笑顔いっぱいのもちづくり』をキャッチフレーズに市民のみなさんの安全・安心の確保、さらには教育および福祉の充実に心掛け、市民のみなさんがゆとりと豊かさを実感し、安心して暮らすことができるよう、全力を傾注して諸政策に取り組んでまいります。一方で、次の世代に多くの負担を残さないよう事業の取捨選択を行い、財政体質の改善と健全財政の堅持を推進していくことを重点に置いています。



平戸市長
黒田 成彦

■「市長査定」という名の事業仕分けに着手

政府与党では、「事業仕分け」という国家予算の無駄を省く作業が注目され、国民の大きな支持を得ています。平戸市においても「市長査定」という名の平戸市版事業仕分けに取り組みました。

特に、議会や市民のみなさんに理解が得られないものや合併を行ったことにより不要となったものについては思い切って削減し、メリハリのある予算編成に心掛けました。

■「マニフェスト」元年という意識をもって

市民のみなさんの関心が高く、数多くの要望が寄せられた雇用確保や産業振興については、国や県の事業とも連携させ、積極的な事業展開を図ることとしています。

特に、「ふるさと雇用再生特別基金事業」および「緊急雇用創出事業臨時特例基金事業」を計上するなど、雇用の確保（両事業により新たに67人の雇用を確保）に主眼を置いた経済対策を第一の柱として投資的経費の増額を図り、昨年度からの国の景気対策関連予算と合わせまして、地域経済の活性化を推進します。

新規事業として、独身男女の結婚機会のための「地域めぐりあい創出事業」、観光客増加を図る「大河ドラマ『龍馬伝』活用誘客対策事業」をはじめソフト事業を60事業。また、生活の安全や産業振興に欠かせないハード事業を19事業を計上するとともに、「防犯灯管理運営事業」や「放課後児童クラブ運営支援事業」、「有害鳥獣被害防止対策事業」などの事業拡大も図ることとしています。

「笑顔いっぱいのもちづくり」を目指し、安心して暮らせるまちの実現に向けて、より良い地域づくりを進めていきます。



お問い合わせ
財政課財政班
(☎内線2354)

【特集】
予算でみる
平成22年度の
仕事

『笑顔いっぱいのまちづくり』の
実現のために



ひと (HITO) 響きあう 宝島 平戸

前年度に引き続き
**積立金(貯金)に頼ることのない
歳入と歳出のバランスがとれた
予算を編成**

一般会計当初予算の内訳

景気低迷により市税が減額となる見込みの中、国や県の景気対策関連施策と歩調を合わせ、経済対策を重視した予算を盛り込むとともに、新規事業をはじめ、重点事業の拡充を図り、「平戸市総合計画」に掲げた目標と施策を着実に実現していきます。

歳出

歳出の特徴

職員給与などの人件費や生活保護費などの法律に基づき支出する扶助費、道路や学校を整備するときに借り入れたお金の返済金である公債費を「義務的経費」といいます。この経費の歳出に占める割合が増えると自由に使えるお金が少なくなるため、人件費、公債費についてはその抑制に努めています。

平成22年度の総額は、前年度より11億円の増額となっています。この大きな理由には、新たな制度である「子ども手当」の創設などによる扶助費の増額(約3億8,000万円)が挙げられます。

また、緊急雇用対策経費(約1億円)を盛り込むとともに、学校施設の耐震化や防災行政無線の整備など、経済対策を柱とした投資的経費の増額(約5億6,000万円)が影響しています。

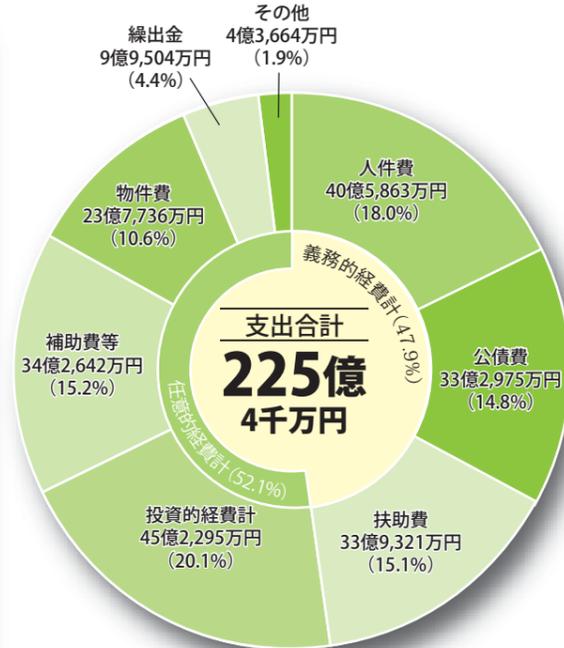
自主財源に乏しい財政状況ではありますが、国や県の施策と歩調を合わせ、市民のみなさんが安心して暮らせるまちづくりのために、地域の緊急の課題である経済・雇用・生活に対応した積極的な予算編成を行いました。

◎今後の財政運営

平成22年度当初予算では財政健全化を最重要課題とし、昨年度に引き続き収支均衡のとれた予算を編成することができました。しかしながら、歳入の多くを国からの支援でまかなっている本市においては、国の政策に大きく影響を受けることになります。

特に歳入の4割以上を占める地方交付税は、市町村合併の特例措置が合併して10年を過ぎた平成28年度以降段階的に減少する見込みとなっていることから、今後も歳入歳出のバランスを調整し、できるだけ少ない経費で効果的に事業を実施するとともに、将来的に大きな負担を残さないような対策を講じ、市民のみなさんが満足できる施策を展開できるよう努力していきます。

◎歳出の性質別内訳グラフ



◎目的別経費の内訳

民生費	56億9,674万円	(構成比25.3%)	障害者・高齢者対策、子育て支援など
公債費	33億2,975万円	(構成比14.8%)	事業のため借りたお金(市債)の返済金
教育費	28億3,418万円	(構成比12.6%)	学校教育・生涯学習の充実、文化・体育の振興など
衛生費	25億8,191万円	(構成比11.4%)	環境保全、疾病予防、健康増進など
総務費	25億1,914万円	(構成比11.2%)	行政全般の事務など
土木費	21億101万円	(構成比9.3%)	道路や川、公園などの社会資本整備など
農林水産業費	15億139万円	(構成比6.7%)	農林漁業振興のための支援など
その他	19億7,588万円	(構成比8.7%)	消防費、議会費、災害復旧費など
合計	225億4,000万円		

歳入

歳入の特徴

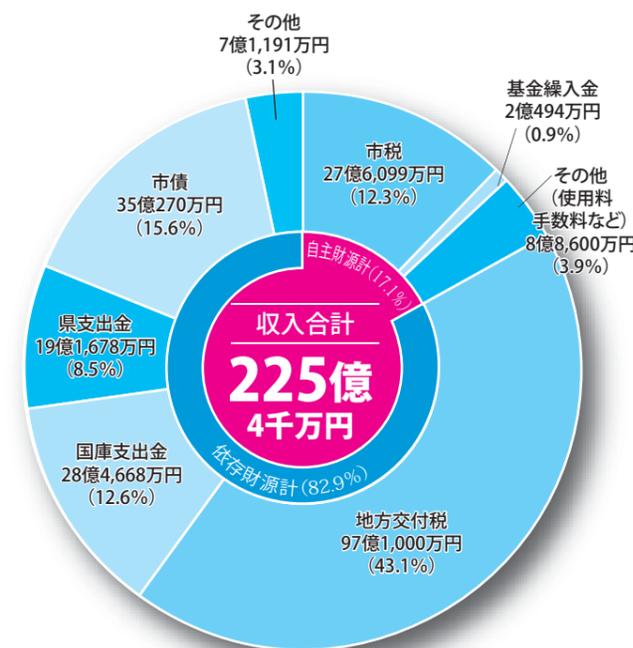
歳入は市が独自に調達することができる「自主財源」と、国や県に頼った「依存財源」に分けられますが、自主財源が多いほど行政活動の自主性と安定性が確保できます。

本市の自主財源は、歳入全体の2割にも満たない状況で、柱となる市民のみなさんからの市税が約12%で、景気低迷による影響を見込み前年度に比べ約5,300万円の減額となっています。

依存財源の半分以上は「地方交付税」が占めています。地方交付税とは全国どこの市町村でも等しく行政サービスが提供できるように、市町村の財政状況により国から国税の一定割合が配分されるものです。また、市債の中にも地方交付税と同じ性格を持つものが約11億7,000万円含まれており、2つを合わせると前年度より約2億5,000万円の増額となっています。

歳入に対して歳入が少ない場合は積立金(貯金)を使うことで、その不足を補てんしますが、前年度に引き続き不足額を生じることなく予算を編成することができました。

◎歳入の内訳グラフ



■平戸市の家計簿

1か月の生活費が30万円の世帯の「家計簿」に置き換ると

支出内容	支出額	市予算の場合	収入内容	収入額	市予算の場合
食費など(義務的経費)	143,500		給料など(自主財源)	51,300	
食費	54,000	職員の給料など(人件費)	給料	36,800	市税
ローンの返済金	44,300	市債の返済(公債費)	パート収入など	11,800	市営住宅の使用料 廃棄物処理の手数料など
医療費	45,200	生活保護給付費など(扶助費)	預金の取り崩し	2,700	基金繰入金
光熱水費など	31,600	事務費など(物件費)	仕送りなど(依存財源)	248,700	
自宅の増改築・修繕費	62,700	道路・漁港・学校などの建設費(投資的経費・維持補修費)	親からの仕送り	202,100	国・県からの補助金 地方交付税など
友人・知人への支援費	45,600	個人・団体への補助費など(補助費など)	銀行などからのローン(借入金)	46,600	市債(市の借入金)
家族への仕送り	13,200	特別会計への繰出金(繰出金)	合計	300,000	
貯金・株式投資など	3,400	基金の積み立て、中小企業への貸し付けなど(積立金など)			
合計	300,000				

(単位:円)

【参考】
県内1世帯当たり平均1か月の消費支出(いわゆる生活費)が、296,623円となっていることから、家計簿の額を300,000円としました。
(総務省統計局「家計調査年報 平成20年」参照)

(単位:円)

活力ある産業振興と雇用の創出

有害鳥獣による被害防止対策や農地の多面的利用による耕作放棄地の解消、低下した資源水準を回復させるための漁場環境の整備を図ります。

また、地場産品の高付加価値による平戸ブランドの確立を目指します。



- 新 田平港シーサイドエリア詳細計画調査事業 821万円
マ (田平港周辺整備に係る詳細計画の策定)
- 平戸食彩フェスタ開催事業 800万円
(「食」をテーマとしたイベントの開催)
- 耕作放棄地対策事業 1億6,183万円
マ (中山間地域等直接支払交付金事業など)
- 有害鳥獣対策事業 6,868万円
マ (イノシシによる農作物への被害防止対策)
- 平成24年度全国和牛能力共進会関連畜産振興事業 1,587万円
(優良繁殖雌牛導入に対する支援ほか)
- しいたけ新商品開発モデル事業 616万円
(菌床しいたけを活用した新商品の開発)
- 新 磯焼け対策関連事業 3,013万円
(人工魚礁の整備、磯焼け対策活動への支援)
- 漁港施設整備事業 4億2,867万円
(漁港・漁業集落内のインフラ整備)
- 平戸ブランド戦略的プロモーション推進事業
マ 2,000万円(ブランド化のプロモーション活動など)



Column 貴重な税金を大事に使うための「市政マニフェスト」による経費削減効果

市民のみなさんに提示したマニフェストの行財政改革の中で、「副市長の1人制」、「部制導入による組織再編」、「生月・大島地域自治区の特別職の廃止」に着手しました。これは、市民のみなさんにとって利便性の高い行政機構の構築を狙いとするとともに、管理職定数の抑制などによる人件費の削減効果があります。(34ページの「特集・組織再編」を参照)

また、「平戸・生月大橋無料化」は観光客などの交流人口の拡大以外にも、職員の通勤手当や大橋通行料経費、ごみの収集経費で1,278万円の削減につながりました。

今後もマニフェストに掲げた項目の推進を図り、その削減効果で得られた財源を市が抱える課題解決のために有効に活用していきます。

明日を担う人材の育成と個性豊かな地域文化の振興

児童・生徒の減少、学校施設の老朽化などを踏まえ、適正規模・適正配置の観点から緊急性・重要性を重視した計画的な施設整備を実施します。

また、歴史・伝統文化の保存・継承により地域コミュニティの活性化を図ります。

- スクールバス・ボート運行事業 1,359万円
(学校統廃合に伴うスクールバス・ボートの運行)
- 第69回国民体育大会準備関連事業 3,669万円
(平成26年度の国体開催に向けた会場整備など)
- 新 民俗芸能祭開催事業 140万円
マ (地域の優れた伝統文化の祭典)
- 小・中学校施設整備事業 7億4,277万円
(田平北小、生月小、平戸中などの校舎改修・耐震化)
- 和蘭商館復元関連事業 3億9,918万円
(建物復元整備、開館に向けたフォーラムの開催など)
- 世界遺産登録推進事業 2,496万円
(文化的景観建造物の調査など)

魅力ある観光の振興と交流人口の拡大

観光客のニーズを的確に把握し、現存する観光資産を「宝」へと磨きあげることに重点を置き、テーマに合った観光メニューの充実を図り、「平戸ならではの」観光地づくりを推進します。



- 新 平戸・生月大橋無料化関連事業 455万円
マ (大橋無料化に伴う式典・イベントの開催など)
- 新 ひらどキャラクターまちなか賑わい事業 1,409万円(歴史や資源をイメージしたキャラクターによる商店街や観光スポットでのPR)
- 新 ポルトガル船来航460周年記念事業 400万円
(カステラをテーマにしたサミットの開催)
- 日蘭交流事業 1,634万円
(オランダ人芸能家の招致、サッカー交流など)
- 新 大河ドラマ「龍馬伝」活用事業 1,338万円
マ (坂本龍馬に関する観光素材を活用した周遊バスツアーの実施など)
- 平戸・佐世保・西海ロングステイ観光圏推進事業 268万円
(2泊3日以上旅行を楽しむ広域的な観光づくりの推進)



総合計画の基本目標別に見るまちづくりの事業

「平戸市総合計画」を基本として、さらに「市政マニフェスト」を運営方針に、産業振興や雇用の確保、安全・安心なまちづくり、魅力ある観光や地域文化の振興による交流人口の増大戦略など、国や県の制度を活用し思い切った予算編成を実現することで、将来へ誇りの持てるまちづくりを推進します。

新・新・・・今年度からの新規事業 マ・・・マニフェスト関連事業

参画と連携による自立した地域の確立

市民と行政が対話を深めることにより、それぞれの役割と責任を明確にし、連携・協力しながら、まちづくりを推進していきます。

- 新 移動市長室開催事業 48万円
マ (市政に対する市民の意見を幅広く聴く機会の充実)
- 新 ひらど市民地域彩盛チャレンジ事業 300万円
マ (市民と行政が連携したまちづくりへの取り組み)
- 協働によるまちづくり推進事業 6,423万円
(市民活動団体などへの支援)

効率的・戦略的な行政経営への転換

総合行政システムによる行政事務の効率化と迅速化を図ります。そのほか、市税に対する市民の理解を求め、積極的な滞納整理・収納対策の推進を図ります。

- 新 「やらんば!平戸」応援基金プロジェクト事業 300万円
マ (ふるさと納税活用事業)
- 新 総合行政情報システム整備事業 5,565万円
(住民情報系システム機器などの更新)
- 収納対策推進事業 29万円
(市税の滞納対策)

自然と共生した安全で快適な生活基盤の確保

市内全域をカバーする防災情報システムの構築や道路などの交通環境整備に努めます。

また、消費相談が気軽に行えるよう、消費者相談員の配置による窓口業務の充実を図ります。



- 新 辺地共聴施設整備事業 1億3,372万円
マ (地上デジタル放送移行に伴う難視対策)
- 防災行政無線施設整備事業 2億7,685万円
(デジタル防災行政無線整備)
- 道路新設改良事業 12億434万円
(市道などのまちを支えるネットワークの整備)
- 海岸漂着物地域対策推進事業 300万円
(海岸への漂着物の撤去・処理)
- 新 消費者相談員設置事業 306万円
マ (消費者相談員を配置)
- 新 消防団サポート事業 35万円
マ (消防団サポート推奨店の指定)



消防団サポート事業所ステッカー

健やかで笑顔とやさしさがあふれる地域社会の形成

障害者・高齢者に対するサービスの充実や地域に密着した医療従事者の確保に努めます。

また、多様な保育ニーズへの対応として延長保育や放課後児童対策、母子家庭などの支援を行います。

- 新 地域めぐりあい創出事業 200万円
マ (市内独身男女の結婚対策)
- 新 子ども手当給付事業 5億2,104万円
(0～15歳までの子どもを対象に養育者へ手当を支給)
- 障害者自立支援給付費等事業 7億626万円
(身体障害者・知的障害者施設入所サービスほか)
- 放課後児童対策事業 1,266万円
(学童保育運営支援、放課後子ども教室の開催)
- 地域医療人材育成事業 2,300万円
マ (過疎・へき地の医療を担う医師の確保対策)
- 児童扶養手当給付事業 1億5,877万円
(母子家庭等における手当を支給)
- 新 地域介護・福祉空間整備事業 1億431万円
(生月・田平・大島地区における介護施設の整備)
- 新 ひとり親家庭等日常生活支援事業 70万円
(母子・父子家庭等に対する家庭生活支援員の派遣)



アスパラガス

歯応えも楽しめるやわらかさと
かむほどにわき出す甘み



◎アスパラガス
緑色が濃く鮮やか、茎に黒ずんだところがない、切り口がみずみずしいなどが新鮮なアスパラガスの見分け方。江戸時代にオランダ人によって出島に伝えられ、和名は、オランダキジカクシやオランダウド。



しっかりとした食感と豊かな香り
栄養価も高い万能野菜

【アスパラガス入りコロケ】

食欲をそそる香りと鮮やかな色

アスパラガスは、春(2~4月)と夏(6~10月)の年2回収穫する周年栽培が行われています。冬の間、根に蓄えられた養分だけで芽を出す「春アスパラガス」、育った親茎の光合成により収穫される「夏アスパラガス」の2種類が楽しめます。

市内では、約10ヘクタールのアスパラガスが栽培されており、主に関東・関西市場に出荷されています。地元の直売所でも販売されているため、新鮮なアスパラガスを味わうことができます。

また、県内外の有名レストランのシェフが、メニューに取り入れるなど、素材への高い評価で注目されている食材です。

特に、春アスパラガスは、根元から穂先までやわらかく、豊かな香りとしつかりとした味、糖度が高く甘いのが特徴。熱を加えると味が引き立つので、炒め物に最適です。

今回取材をさせていただいたのは、平成11年から田平町でアスパラガスの栽培を始め、現在、60アールの栽培を行う相知義一さん。

「アスパラガス部会では、現地検討会や他産地への研修などを開催し、会員相互の生産技術などを高めあっています。」と相知さん。

田平地区のアスパラガスは、主に関東・関西市場へ出荷され、その中でも極太のアスパラガスは、県のブランド品「王様アスパラ」として出荷されています。

相知さんは、「今は、露地野菜も作っていますが、将来的にはアスパラガス一本でやっていきたい。ぜひみなさんには、新鮮でおいしいアスパラガスを味わって欲しいと思っています。」と笑顔で語ってくれました。



JAながさき西海
松浦地区
アスパラガス部会長
田平町小崎免(62)

相知 義一さん
Ositi Yoshikazu

アスパラガス部会の部会長として、現地検討会や研修などを企画し、会員相互の生産技術を高めあうための活動に力を入れている。

チャレンジお手軽レシピ

アスパラガスの卵グラタン



◎材 料(4人分)

アスパラガス(中)4本、卵6個、ウイナー4本、とろけるチーズ2枚、玉ねぎ・にんじん・じゃがいも適量

◎作り方

- ① アスパラガスを斜めに、玉ねぎ・にんじん・じゃがいもは1cm角に切り、茹でる。
- ② 卵をスクランブルエッグのようにフライパンで炒め、①を入れ「塩・コショウ」で味を付ける。
- ③ ②を耐熱性の器に入れ、とろけるチーズをのせる。
- ④ ③をオーブントースターで5~6分焼く。



▲▶写真上・右:春は、1日1回、夏は1日2回の収穫が基本。収穫されたアスパラガスは、共同選果場に運ばれ選別。その後、各市場へ出荷される▼散水は、収穫量を左右する重要な作業の一つ。アスパラガスの生育状況に合わせて、適量のかん水を行うことで、良品質のアスパラガスを出荷できる。



Interview

主役を引き立てる名脇役

平戸のアスパラガスは、赤土でじっくり育っているため、えぐ味も少なく、とてもみずみずしくて甘い食材です。

アスパラギン酸やビタミン類などの栄養価も高く、料理人から見ても素晴らしい食材の一つと言えます。

一手間かけるといろいろメニューに使い、料理の彩りを華やかにしてくれます。まさに主役を引き立てる名脇役です。

おいしく料理するポイントは、くれぐれも火を通しすぎないようにする事です。

絶妙な歯応えと甘みを楽しみましょう。保存法は、濡れた新聞紙などで包み、穂先を上にして冷蔵庫に入れると鮮度と味を維持できます。

洋風小料理 紺や亭
オーナーシェフ
谷川 克城さん
Tanigawa Katsuki
◎紺屋町(47)



高校卒業後、調理師専門学校へ進学。福岡市内のイタリアンレストランやフレンチレストランなどで修行した後、1995年に「洋風小料理紺や亭」をオープン。

PHOTO
まちの
できごと
NEWS

艶やかな葵姫のお輿入れパレード！

3月7日、亀岡神社から松浦史料博物館までをパレードする「葵姫のお輿入れ行列」が開催されました。このパレードは、「平戸温泉城下雛まつり」のイベントとして、松浦家35代松浦熙公に、松平定信の娘葵姫がお輿入れした姿を現代風に再現。

松浦熙公と葵姫には、応募から選ばれた木寺雄光さんと幸子さん夫妻(紺屋町)が扮し、2人の息子さんや保育園児、小学生と一緒に市内をパレードしました。艶やかで勇壮な行列に、多くの観光客などが訪れにぎわいました。



地域のきずなは、まず会話から！

3月7日、田平町民センターで、「第4回平戸市公民館大会」が行われ、約630人の市民のみなさんが参加。公民館表彰と生涯学習まちづくり表彰、市内3地区の事例発表が行われました。その後、元大分県佐伯市職員で「観光大使」を務めた矢野大和さんを迎え、「口演-笑って元気、地域の絆」と題した講演を行いました。講演では、「言葉には魂がある。会話が、地域のきずなを強める」とコミュニケーションから地域を活性化できると話し、落語研究会で鍛えた独特の話し方で、会場を沸かせていました。



待望のチューリップひらどの花が咲く！

3月17日、北松農業高校で「チューリップひらど」が見ごろを迎えました。このチューリップは、花屋を営む林浩司さん(宮の町)が、昨年の平戸オランダ年に合わせてチューリップに平戸の名前が付かないものかと取り組んだ結果、オランダで栽培された新品種にこの名前が付き、オランダから仕入れたこの球根を同高の園芸科学科に栽培を依頼。オランダとの友好の証であるこのチューリップ、生徒たちが懸命に育てて、鮮やかなワインレッドに白ふちの花を咲かせることができました。



考古学展でよみがえる古代の平戸

3月20日、平戸市生月町博物館・島の館で市内の遺跡発掘調査から発見された旧石器時代の遺物などを約200点を集めた特別企画展「平戸地方の考古学展」を開催。開式当日は、市文化遺産課長がフロアトークを行い、来館者に展示されている旧石器や磁器片などの遺物や遺跡の写真パネルについての説明・解説をしました。来館者からは、「多くの遺産があって興味深い。昔の雰囲気を感じました」との話を聞きました。この企画展は、5月9日まで開催しています。



**市内3カ所で
平戸ツバキを堪能**

2月27日、28日の両日、田平町民センターで「第35回田平つばき物産展」が、岩の上町では、「第35回平戸椿まつり」(旧熊澤三郎邸)・「椿展」(大曲敦邸)がそれぞれ開催されました。旧武家屋敷を会場とした旧熊澤・大曲邸では、「鎮信」、「やぶ椿」、「玉之浦」など色とりどりのツバキが、鉢物や生け花で展示。振る舞われるお茶とともに、会場を訪れた人たちの心を癒していました。田平町民センターでは、ツバキの展示のほか、北松農業高校の生徒たちが育てたヤブツバキの苗木販売や湯茶の接待などが行われ、大勢の来客で賑わっていました。

大島の大自然と料理で花粉症リフレッシュ！

2月26日から28日の3日間、大島地区で、「第3回大島村・避粉地体験モニターツアー」(あづち大島たからもの会主催)が開催されました。大島地区はスギ花粉が少なく、きれいな空気環境であることから、花粉症で悩んでいる人を対象に、専門医が同行したモニターツアーを実施。市外や県外からの参加があり、大島の自然や料理、町なみ散策を十分満喫しました。参加者からは、「初日からマスクを着けなくても、花粉症の症状は出なかった」などの成果の声も聞くことができました。



日米のクジラ文化を語るシンポジウム

2月27日、生月町中央公民館で、捕鯨文化について語るシンポジウム「世界の鯨文化のなかの生月」(生月ボランティアガイド協会主催)が開催されました。このシンポジウムでは、アメリカの捕鯨博物館のスチュアート・フランク博士が、アメリカの捕鯨の歴史や文化、幕末にアメリカの捕鯨船で働いていたジョン万次郎のことなどについて講演。パネルディスカッションでは、和歌山県太地町と佐賀県唐津市、生月町島の学芸員がそれぞれの地域の捕鯨文化を紹介しました。



がんばれ!平戸のアスリート



猶興館高校女子空手部

- 第29回全九州高等学校空手道新人大会 (兼) 第29回全国高等学校空手道選抜大会予選九州北ブロック 3位
- 第18回国分ハイテク旗鍊成大会 優勝

全国大会
出場決定!

Interview

大分県で行われた九州大会では、準決勝で熊本県の強豪校との対戦で負けてしまい、第3位という結果になりましたが、全国大会への出場を決めることができました。

また、鹿児島県で行われた、国分ハイテク旗鍊成大会では、1回戦、2回戦ともに自分たちのペースで試合を進めることができました。決勝戦では、宮崎県の強豪校との対戦となり、相手の雰囲気にも飲まれそうになりましたが、自分たちの力を信じて優勝することができました。

これから全国大会など大きな大会が続きます。これまでいろいろな大会に出場したことで、多くの課題もみつかりましたが、それを克服して、自分たちの組手ができるようがんばっていきたくです。

「練習は、うそをつかない」をスローガンに、部員みんなで、自分たちの力を信じて、上位を目指し試合に臨んでいきたいと思っています。

伊藤 正博さん

第58回全国都道府県対抗剣道優勝大会 県予選優勝

Interview

県大会では、まず気持ちで絶対に負けないことを意識して試合に臨みました。準決勝、決勝戦では、気力が充実し集中していたので無意識のなかで、技が出せ勝つことが出来ました。これは、普段の稽古の中で、重視していることです。全国大会では、緒戦の臨み方が重要です、集中して挑みたいと思います。練習の成果を出せば結果は、ついてくるとしています。

全国大会
出場決定!



国際大会
出場!

松永 六十四さん

第8回ワールドゲームズ2009高雄大会相撲競技個人男子無差別級 準優勝
第58回全日本相撲選手権 敢闘賞

Interview

県・市スポーツ特別賞と2つの賞を頂いたことは、とてもうれしいですし、今度の励みにもなりました。

国体出場という大きな目標もありますが、まずは、全日本相撲選手権で、昨年以上の成績を残せるよう、がんばっていきたくです。



平戸市スポーツ表彰



2月24日、市役所で、平成21年度平戸市スポーツ表彰式が行われ、平成21年度に各種スポーツの国際大会に上位入賞した1個人に市スポーツ特別賞。全国大会・九州大会・県大会で上位入賞した18個人、5団体に市スポーツ賞、3個人に体育功労賞と1団体に社会体育優良団体賞が贈られました。被表彰者は次のとおりです。

市スポーツ特別賞

【個人】

- ▼相撲 松永六十四(市相撲連盟)

市スポーツ賞

【個人】

- ▼バレーボール 大坪 翼(田平中)
- ▼陸上 長島夏子(市陸上競技協会)
- ▼空手道 吉元勇志(市空手道協会維新館)、久富暉竜(生月空手道スポーツ少年団)、瀬崎 凜(生月空手道スポーツ少年団)、松倉七海(拳城館)、橋口龍三(武當館山田)、坂井 滉(佐世保北高)

▼剣道 伊藤正博(市剣道協会)

- ▼相撲 坂口雄貴(紐差相撲クラブ)、三輪あかね(紐差相撲クラブ)、石田 梢(宝亀少年相撲倶楽部)、原田晋平(紐差相撲クラブ)、大石英樹(市相撲連盟)

- ▼柔道 針尾紗英(田平中)、白石一成(平戸中)、浅田美保(猶興館)、林 千夏(長崎商業)

【団体】

- ▼軟式野球 生月中学校軟式野球部
- ▼相撲 宝亀少年相撲倶楽部、第61回長崎県民体育大会相撲競技平戸市チーム
- ▼クレー射撃 第61回長崎県民体育大会スキート競技平戸市チーム
- ▼サッカー カスドース平戸(小学生選抜)

【体育功労賞】

- 田中祐策(市ゲートボール協会)、末吉幸徳(市相撲連盟)、塚本 勇(市中部体育振興会)

【社会体育優良団体賞】

- ▼相撲 宝亀少年相撲倶楽部



- 職業
自営業
- ニックネーム
たーぼ
- 性格は？
やさしい 天然
- 趣味・特技
サッカー・バトミントン・釣り

丸屋さんは、高校卒業後、長男ということもあり、跡継ぎとして船に乗り始め、今年で5年目になります。今は、遊漁船で海釣りをするお客さんに釣り場の案内などもしているそうです。「船に乗ったお客さんが、魚を釣ったときのうれしそうなお顔をみたり、ありがとうと言葉をかけてもらったときに、この仕事をやっててよかったと感じます」と海で働く魅力を笑顔で話してくれました。

まる や ただ ふみ
丸屋 忠史さん (22歳・大久保町)
「将来、立派な遊漁船の船長になりたい」

☆☆☆ **Happy Birthday** ☆☆☆
★お誕生日おめでとう！★ **4月生まれ**



お兄ちゃんと仲良くてね

ふじた こうが
藤田 康我くん
(H19.4.16生)

～康治さん・優美さんの次男～
《岩の上町》



元気に育ってね

さかもと りゅうと
坂本 龍翔くん
(H21.4.21生)

～正浩さん・晴菜さんの長男～
《岩の上町》



いつも元気できてね

さいくさ ともか
七種 朝香ちゃん
(H19.4.26生)

～昇一さん・摩弓さんの次女～
《戸石川町》

募集しています

大募集！「まちのひとびと」へあなたも投稿しませんか？

「平戸のわかもん」平戸のまちで働く「わかもん」を紹介し、自薦他薦は問いません。掲載を希望する人は下記までご連絡ください。

「クラブ紹介」スポーツ団体や芸能団体など、平戸のまちで活躍するさまざまな団体を紹介し、私たちの活動を紹介して欲しい、など掲載を希望する団体は下記までご連絡ください。

「Happy Birthday」発行月にお誕生日を迎える3歳までのお子さんを募集します。掲載は先着3人まで。申込み期限は発行前月の15日です。掲載のご予約は、お気軽に、お早めに。
○応募方法 写真にお子さんの名前（ふりがな）・生年月日・住所・電話番号・お子さんへのメッセージ・ご両親の名前を添えて郵送またはEメールにてご投稿ください。※写真は返却しません。ご投稿いただいた作品は必ずしも掲載するとは限りませんのでご了承ください。

あて先 〒859-5192 平戸市岩の上町 1508 番地 3 市長公室秘書広報班 E-Mail kouhou@city.hirado.lg.jp

Town's People **CLOSE UP!**
まちのひとびと
Club Introduction
クラブ紹介

「平戸少年サッカークラブ」 「一緒に楽しくサッカーしませんか」



平戸少年サッカークラブは、1年生から6年生までの33人のチームです。平戸小学校のグラウンドで基礎練習やミニゲームなどに取り組み、市内の大会や県内外の大会へ参加し、技術の向上に励んでいます。昨年9月に出場した県大会では、よい成績を残せず、悔しい思いをしましたが、この悔しさをバネに、走り負けないチームになるため、チーム一丸となって練習に励みました。

この結果、平戸市代表として出場した昨年12月の新人戦県大会ではベスト8、今年2月に出場した九州少年県大会ではベスト16に入ることができました。今年も、「走る・負けない気持ちをもって」をテーマに、県大会やそのほかの大会で上位進出を目指し練習をがんばっています。現在、部員を募集しています。サッカーに興味がある人、初心者でも大歓迎です。一度、気軽に練習を見に来て下さい。



■活動DATA■

活動日/毎週水曜日以外
午後4時30分～午後6時30分
活動会場/平戸小学校グラウンド
対象者/平戸小学校児童
連絡先/同小学校 ☎22-2410
部員数/33人
参加費/3,000円(学期)
代表/針尾 忍さん(岩の上町)

ふじま ふみとも しゃちゅう ほうせん かい
「藤間不三朋社中 朋扇会」 「着物を着て踊ると気持ちが引き締まります」



朋扇会は、昭和52年から活動を始めて33年目になります。藤間不三先生が田平に住むことになり、踊りの教室を始めたことがきっかけとなり発足しました。主な活動として、町の文化祭や発表会などで踊りを披露することです。特に、敬老会や病院慰問で踊りを披露したときは、大変喜んでもらえました。

朋扇会では、端唄や長唄、小唄、歌謡曲に合わせて、楽しみながら踊りの練習をしています。練習で心がけていることは、「唄と踊りのイメージを合わせて踊ること」。また、休憩に入ると、みんなで菓子などを食べながら、おしゃべりに花を咲かせることも楽しみの一つです。朋扇会では、現在一緒に踊る仲間を募集しています。一度、見学に来てみませんか？きっと、踊ってみたいくなるはずですよ。



■活動DATA■

活動日/第1・第3水曜日
午前10時～午後4時(坊田公民館)
午後7時～午後10時(小崎公民館)
活動会場/坊田公民館・小崎公民館
対象者/社会人以上
連絡先/代表 ☎57-1616
部員数/11人
参加費/5,000円(月額)
代表/嶋本 フデ子 さん(田平町小崎免)

市民の声

Citizen's Voices

このコーナーは、広報ひらどの読者のみなさんからの声を伝えるページです。広報ひらどへの感想、平戸市への思い、身近な出来事など、たくさんの声をお寄せください。



▲3月7日に行われた城下雛まつりのイベント「ひなパレード」からの1コマ

今回の応募総数は、**32**通でした。

広報で取り上げられていた携帯電話の利用について、携帯電話は便利な一方で色々な危険性がある事を知りました。

私は高校に入ってから携帯電話を持つようになりました。それから今までずっと携帯電話を手放した事は一度もありません。

特に大きなトラブルに巻き込まれる事もなく、自分では携帯電話を手く利用出来ているつもりでした。しかし、結婚して出産し、子どもと一緒にいる時間を過ごすうちに、自分が携帯電話に依存しつつある事に気付くようになりました。

子どもが、また赤ちゃんのうちは、一日に携帯電話を扱って居る時間が多くな...くらいにしか感じていませんでしたが、子どもが成長し言葉を覚え始めた時に、『お母さん何してるの?』と言われ、子どもと一緒にいる時に携帯電話に気を取られている自分を子どもはちゃんと見ているんだと知りました。

それからは子どもと一緒にいる時は、子どもだけを見てあげられるよう、携帯電話を扱わないように心掛けるようになりました。そうするようになって、今まで気付かなかった子どもの色んな所に気付いてあげられるようになりました。

携帯電話は、本当に便利な物です。だからこそ、携帯電話に扱われるの

ではなく、携帯電話を上手く扱えるようにしていきたいなと思います。

(ムシメガネ 25歳女性)

仕事の関係上、平戸市には良く訪れます。これだけ中身の濃く、いいものを毎月出しているのに、それが市民にしっかりと読まれているのが気に入ります。市民のみなさんが読んで「なるほど」と思うところが多いと思うので、外の人が読んだらなおさら面白いと思います。

「平戸素材」などは「通」向けの感じがして、観光客向けに冊子にして案内したら非常に効果があるのではないのでしょうか。

毎月楽しみに拝見させていただいておきますので、これからもより良いものをよろしくお願いします。

(KN 24歳男性)

今月号の読者プレゼントが、「えしろ」のいちごのロールケーキと言う事で、早速、応募しています。

「えしろ」は、お店でケーキセットが食べられるので、たまに、利用しています。どうか当たりますように。

(YF 20歳女性)

広報ひらど毎月楽しく読ませて頂いています。合併してからページ数も増え、公平に地区の話題を取り上げるのは、大変だと思います。

PRESENTS

読者プレゼントコーナー

漁師食堂 母々の手

「漁師料理バイキング(2,000円分)」のお食事券を5名様にプレゼント!

漁師食堂母々の手は、「平戸の新鮮な魚を多くの人に食べてほしい」という思いでお店を開いて4月で2年目を迎えます。毎朝、白石漁港に水揚げされる新鮮な海の幸を、バイキング形式で提供しています。こだわりは、魚も野菜もできる限り地元のものを使い、昔ながらの手作りの味を楽しんでもらうこと。メニューは、旬の魚を使った刺身や揚げ物、煮魚など豊富です。また、店内からは、海を一望できる最高のロケーション、舌と目で平戸の海を堪能できます。平日は、完全予約制となっているため、土曜・日曜限定の引換券を5名様にプレゼント。なお、引換券の有効期限は、7月31日までとさせていただきます。

◎商品についてのお問い合わせ

漁師食堂 母々の手
〒859-5142 平戸市主師町白石漁港
TEL 24-2648

※プレゼントは、事業所から提供をいただいています。

◎あて先

〒859-5192 平戸市岩の上町1508番地3
市長公室秘書広報班
「市民の声&読者プレゼントコーナー」係
▼F A X 22-2419

▼E-Mail kouhou@city.hirado.lg.jp

※市ホームページからも投稿することができます。

※個人情報の取り扱いについては、「平戸市個人情報保護条例」に基づき適正に行います。なお、プレゼント発送のために個人情報を商品取り扱い事業者に提供いたしますのであらかじめご了承ください。



※写真はイメージです。

市民のみなさんからの おたよりお待ちしております。

郵便、FAX、E-Mailで、氏名(ふりがな)、年齢、性別、住所、電話番号、ペンネームまたはイニシャルを記入の上、広報ひらどを読んだ感想や取り上げてほしい話題や記事、平戸市への思い、あなたの身近な出来事などを書いてご応募ください。

お便りをくださった人の中から抽選で5名様に上記商品をプレゼント。応募締切は4月23日(金)当日消印有効です。当選の発表は、商品の発送をもって代えさせていただきます。

平成22年長崎県広報コンクール 広報紙の部(市部)・ 一枚写真の部(市部)最優秀賞

広報ひらどが、平成22年長崎県広報コンクール広報紙(市部)の部門においては3年連続の最優秀賞と一枚写真の部(市部)の最優秀賞を受賞しました。2部門での最優秀賞は初めてで、県代表として今年5月に行われる全国広報コンクールに推薦されることになりました。取材にご協力ご支援いただきましたみなさんありがとうございました。



一枚写真の部(市部)最優秀賞を受賞した平成21年9月号

広報紙(市部)最優秀の部を受賞した平成21年3月号



※このほか、27通のお便りがありました。

(維新館会長 男性)



成人式の記事は、出来れば地区別の集合写真ぐらいは載せて頂きたいなあと思いました。今年は、北部の方しか取り上げていなかったように思いました。地区の成人者の晴れ姿です。できれば探し探し写真も見たいものです。

平戸市の月一度の新聞です。知り合いの顔や名前が出るとやはりくぎづけになります。すみからすみまで興味を持てる広報紙を作って下さい。たまには市民が作るコーナーがあっても楽しいかなと思います。

(ソーイング夢子 45歳女性)

恒例の寒中稽古を行いました。5歳から50歳代までの男女50名ほどが、亀岡神社で祈願しての参拝をし、平戸大橋公園海岸まで全員がマラソンを完走。その後、男性は上半身裸となり平戸瀬戸の海流で身を清め、寒さに負けることなく基本動作を中心に、平戸瀬戸に響き渡るほどの気合の入った大きな声で約20分間の寒中稽古に全員が耐えました。

終了後は、お母さんたちが炊き出してくれた暖かい豚汁をたくさん食べて体を温めながら、この一年のスタートを切りました。

また、保護者も多く参加されましたが、子どもたちの元気な姿を見てこの1年の飛躍に大きな期待をしていました。



県指定文化財

新たな平戸遺産として、4つの文化財が県の指定文化財となる。

Vol.50

松浦家伝来少年用渡来上着2着(青地上着・白地上着)

この上着は代々平戸松浦家に伝承されたもので、現在は松浦史料博物館に所蔵されています。ヨーロッパの様式を持った少年用の洋服です。しっかりとした作りで、裏地や縫い方はアジアの洋服の特徴を持っています。青地上着で用いられた裂は17世紀にペルシャで織られたものと考えられ、上層階級の人々が着る高級な絹織物で、現在では他国では断片すら見られないほど貴重なものです。白地上着はヨーロッパ商人が中国に注文、織らせた西洋人用絹織物のようで、金糸、銀糸が織り込まれています。渡来の時期や経路については不明な点もありますが、この当時の洋服が完成品として残存する例は世界的にも希少であり、歴史的にも美術品としても大変貴重なものといえます。



文化財DATA

- 名称 松浦家伝来少年用渡来上着2着(青地上着・白地上着)
- 種別 県指定文化財(美術工芸品)
- 指定年月日 平成22年3月5日
- 所有者 財団法人 松浦史料博物館
- 所在地 平戸市鏡川町

平戸石川のハルサザンカ

ハルサザンカは、ササンカ雌種とヤブツバキ雄種が自然交配したもので、植物分類学者牧野富太郎氏によって明治38年に命名されています。古くから園芸種として知られていましたが、自然交配で自生する原木(一次交配種)については長い間確認されませんでした。1970年代に熊澤三郎氏(元九州農業試験場・場長)によって、戸石川の武家屋敷にある原木(一次交配種)が発見され、「凱旋」と命名し広く紹介されています。

本指定物件は樹齢が400年を超えると推定され、樹高約8m、幹周約1.6mの古木で、国内では最大級のもです。花は鮮やかな紅色の一重の小輪で、サザンカに近いものです。

平成19年2月26日に市指定文化財に指定され、今回県指定に昇格しました。



文化財DATA

- 名称 平戸石川のハルサザンカ
- 種別 天然記念物
- 指定年月日 平成22年3月5日
- 所有者 個人
- 所在地 平戸市戸石川町

紐差教会

昭和4年(1929)に鉄川与助氏の設計・施工により建築された県内最初の鉄筋コンクリート造の教会です。鉄川氏は長崎県を中心に数多くのカトリックの教会堂を建築し、市内では山田教会、田平天主堂(国指定)も鉄川氏が携わっています。

美しい外観は、鉄川氏の手がけた煉瓦造教会の形態を継承し均整が取れています。内部の柱はエンタシス(下部から上部にかけて徐々に細くした形状)を用いています。中央の天井は板張りの船底天井、側面は板張りの平天井で、それぞれに彫刻装飾がなされ全体のバランスがよく保たれています。

教会のある紐差地区は、キリスト教の禁教が解かれたあとは平戸におけるキリスト教布教の拠点のひとつとなったところであり、建築当初より信者を中心に現在に至るまで大切に伝えられた貴重な建造物です。



文化財DATA

- 名称 紐差教会
- 種別 県指定文化財(建造物)
- 指定年月日 平成22年3月5日
- 所有者 宗教法人カトリック長崎大司教区
- 所在地 平戸市紐差町

旧松浦家住宅(千歳閣・九阜齋・玄関)

明治26(1893)年に平戸松浦家第37代(心月)の邸宅として建築されました。現在は松浦史料博物館として利用されています。3棟はいずれも木造平屋建で、千歳閣の外観は和風ですが、内部では天井などを高くし、照明にシャンデリアを用いて洋室とし、謁見の間として利用されていました。九阜齋は和風の書院造りで、書齋や私的な接客の間として利用されていました。

明治期の藩主の邸宅としては規模も大きく、一部洋風を取り入れた構造やデザインに特徴が見られ、近代和風建築としても貴重です。



文化財DATA

- 名称 旧松浦家住宅(千歳閣・九阜齋・玄関)
- 種別 県指定文化財(建造物)
- 指定年月日 平成22年3月5日
- 所有者 財団法人 松浦史料博物館
- 所在地 平戸市鏡川町

みんなで防ぐ児童虐待

平戸市要保護児童対策地域協議会



地域で子どもを見守る ネットワークづくりを行っています!

児童虐待は、自分ひとりで解決するには、難しい問題です。児童虐待を早期に発見、早期に対応していくためには、地域の関係機関のネットワークを形成して対応することが必要です。

関係機関が強力で連携し、情報を共有することによって、その家庭が抱えている問題に対して適切に支援を行うことができます。

平戸市では、平成19年に「要保護児童対策地域協議会」を設立し、関係機関が情報共有と役割分担をしながら効果的な支援を行っていくネットワークを整備しています。今後も、このネットワークを強化し、親子を地域で見守る体制を整備していきます。

【関係機関】

- 佐世保こども・女性・障害者支援センター
- 長崎地方法務局平戸支局
- 県北保健所
- 主任児童委員
- 小・中学校
- 市教育委員会
- 平戸警察署
- 平戸市医師会
- 人権擁護委員
- 市内幼稚園・保育園
- 市保健センターなど

もしかして「児童虐待では?」と思った場合には!

「虐待の疑いがあるけれど、それが間違いだったらどうしよう」と心配する人もいるかもしれませんが。児童虐待防止法では、虐待を受けた児童だけでなく、虐待の疑いのある親子を発見した場合、子どもに直接かかわる関係機関はもちろんのこと、市民のみなさんに対しても通告の義務があります。

人の家庭のプライバシーを漏らすようで、通告するのに抵抗感があるかもしれません。しかし、虐待している親のほとんどは、子育てがうまくいかないことなどで悩んでいます。

また、親が悩みを抱え込んでいて、誰にも相談できずにいる場合もあります。通告することも、子育て支援のひとつと考えて、迷わず手を差し伸べてください。

なお、通告を受けた機関には、通告者の秘密厳守が義務付けられています。

子どものサインに気づいてください!気づくためのポイントは?

虐待され続けて育った子どもは、それが当たり前と思いついて、助けを求めることをしないことがあります。

また、乳幼児は助けを求めることもできません。まわりの誰かが気づくことが、解決につながります。

子どものサイン

- ◆不自然な傷がある
- ◆表情が乏しい
- ◆家に帰りがたらない
- ◆食事に対して異常な執着を示す
- ◆ほかの児童に対して乱暴である
- ◆衣服や身体が非常に汚れている など

親や家庭からのサイン

- ◆子どもへの態度や言葉が否定的である
- ◆地域の中で孤立している
- ◆親の前で子どもが極端に緊張している
- ◆子どもが病気やけがをしても、病院に連れていかない
- ◆子どもを置いてたびたび外出する など

相談・連絡の窓口 福祉課子育て支援班、佐世保こども・女性・障害者支援センター(☎0956-24-5080)へ

point!
地域での
早期発見が
子どもを
守ります。

point!
ちょっとした
サインを見逃
さないことが
大切です。

Happy 子育て応援隊①

No.12 児童虐待を地域ぐるみで防ぎましょう

児童虐待は、都市の問題と思いませんか?児童虐待は生活と密接に関係しており、平戸市でも発生しています。親がいくら一生懸命であっても、その子をかわいいと思っても、子ども側にとって有害な行為であれば、虐待です。虐待を考える場合、子どもにとって有害かどうかで判断することが必要です。

■お問い合わせ 福祉課子育て支援班(内線☎2572)

児童虐待には大きく分けて 4つのタイプがあります。

児童虐待は、子どもの人権を侵害し、その心身に重大な影響を与える深刻な問題です。児童虐待については、痛ましい事件は絶えず、連日、新聞やテレビで多くとりあげられています。児童虐待から子どもたちを守るには、早期の発見と早期の対応が大切です。

児童虐待にはさまざまなものがありますが、大きく分けると次の4つのタイプがあります。

▼身体的虐待

殴る、蹴るなど子どもの体を傷つける行為
↓体に傷や後遺症が残ったり、命そのものが奪われたりする
こともあります。

▼心理的虐待

言葉による脅しや無視、差別など子どもの心を傷つける行為
↓心に傷を負い、おびえや不安、うつ状態、無感動、無反応、強い攻撃性などを示すようになります。

▼ネグレクト(育児放棄)

家や車の中に放置する。ゴミだらけの部屋で生活させる。食事を与えないなど養育を怠る行為

児童虐待は身近な問題です。

全国的にも児童虐待の件数は増加しています。平戸市においても、児童虐待の件数は増えており、平成21年4月から平成22年2月までの虐待相談対応件数は16件です。16件のうち11件がネグレクトで、全体の約7割を占めています。

●児童虐待相談件数

	平戸市	長崎県	全国
平成18年度	2	223	37,323
平成19年度	13	196	40,639
平成20年度	12	285	42,662
平成21年度(2月末まで)	16	-	-

- ↓発達・成長が遅れたり、極端な場合は、栄養失調や脱水症状で死に至ることもあります。
- ▼性的虐待
子どもにわいせつな行為などをすること
- ↓異性への極端な嫌悪感を抱くようになるなど、心と体に大きな傷を残します。

児童虐待は特別な家庭で起るものではありません。

「なぜ虐待するの?」と思う人が多いと思います。しかし、児童虐待は誰にでも起こりうるものです。特別な家庭で起こるものではありません。

祖父母と暮らすことも少なくなり、また、近所との付き合いも減った社会環境である今、身近に育児を手伝う人や悩みを聞いてくれる人がいないために、育児ストレスや孤立感から虐待につながる場合があります。それに、子ども自身がよく泣いたり、食事をあまり食べなかったりすることで、さらに親の疲労やストレスが増したりします。

また、精神的や経済的に不安定な状態のときは、子どもにイライラ、不満をぶつけてしまいがちになります。このようなさまざまな問題を、親だけの問題としてとらえず、地域全体の問題として取り組むことが求められています。

そして、親が一人で、「悩まない」、「頑張らない」、「抱え込まない」ように、地域ぐるみで子どもの人権と安全を守っていくことが必要です。

Happy 子育て応援隊②

平戸市からのお知らせ「子育て応援拡大版」

子育ての環境を支援するために、さまざまな子育て支援制度の創設や拡大が、国において行われています。平戸市でも「健やかで笑顔とやさしさあふれる地域社会の形成」を目標に子育て支援を実施しています。今回は、子育て情報のお知らせ版として、子育て家庭を応援するために4月から新たに実施や拡大する事業などについてご紹介します。

■お問い合わせ 福祉課子育て支援班(内線☎2572)



「子ども手当」制度が始まります。

次世代の社会を担う子どもの健全な成長を支援するために、中学校修了前の子どもに対して、子ども手当を支給する制度が創設されました。この制度は、4月から、小学校修了前の子どもに対して支給されていた児童手当制度が変わって、支給が開始されます。

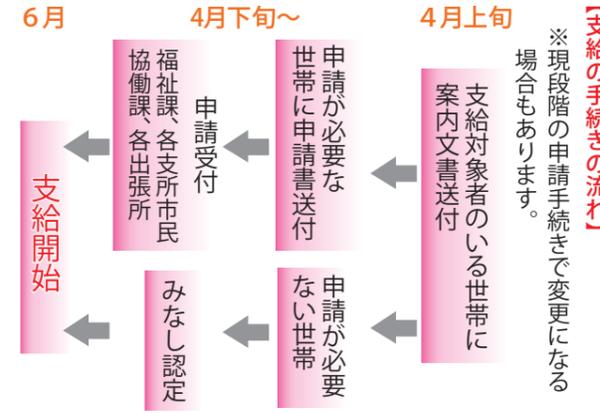
子ども手当て概要

施行期日	4月1日から
支給対象者	中学校修了までの子ども ※生年月日が平成7年4月1日以降の子ども
受給者	支給対象者の父(母)または養育者
支給金額	1人につき13,000円
支給月	6月 4～5月の2カ月分、1人当たり26,000円 10月 6～9月の4カ月分、同52,000円 2月 10～1月の4カ月分、同52,000円

※平成23年度以降の支給制度の内容については、まだ確定していません。

3月31日現在、児童手当受給者で引き続き子ども手当の支給要件に該当する人は、手続きは必要ありません(みなし認定)。新たに、中学校の子ども(中学2・3年生)を養育していることで、新規に認定または増額する人は手続きが必要になります。手続きが必要な人には、4月下旬以降に申請書を送付しますので、必要事項に記入の上、市福祉課、各支所市民協働課、各出張所へ提出してください。

4月上旬には、支給対象者のいる全世帯に制度内容と必要な手続きについての案内を送付します。



「健やかで笑顔とやさしさあふれる地域社会」の実現に向けて

■information

「次世代育成支援行動計画(後期計画)」を作成しました。

平戸市では、市町村合併前の平成17年4月に、旧市町村で「次世代育成行動計画(前期計画)」を策定し、安心して子育てができるような環境づくりを推進してきました。

今回、「次世代育成支援対策地域協議会」において平成20年度に実施しましたニーズ調査の結果や現状、課題を把握し、具体的施策の評価をするなど前期計画の見直しを実施し、平成22年度から26年度までの後期計画を策定しました。

この計画では、「健やかで笑顔とやさしさあふれる地域社会の形成」を目標に、さまざまな子育てしやすいまちづくりのための支援策を盛り込んでいきます。

この計画の内容などについては、今後広報などで紹介いたします。

「ひとり親家庭などの日常生活支援」を行います。

市内に在住するひとり親家庭など(母子・父子家庭や寡婦)で、一時的に生活援助または子育て支援が必要な世帯に対して、家庭生活支援員を派遣して必要な支援や保育などを行う事業が4月からスタートします。

● 支援の種類

- ▼ 生活援助
食事の世話、住居の掃除など
- ▼ 子育て支援
乳幼児の保育、児童の世話など

● 利用限度期間

1世帯あたり生活援助および子育て支援それぞれ年間10日間

● 申込方法

事前に福祉課への派遣申請が必要になります。

● 利用料金

利用世帯の区分	利用者負担額(1時間あたり)	
	子育て支援	生活援助
生活保護世帯または市民税非課税世帯	0円	0円
児童扶養手当支給水準の世帯	70円	150円
上記以外の世帯	150円	300円

※子育て支援は2時間以上の利用になります。

母子家庭高等技能訓練促進費の対象資格を拡大します。

母子家庭のお母さんが、就職に有利な資格を取得するために、専門の養成機関などで2年間以上修業する場合に、養成期間の生活費の一部を助成しています。4月から、この対象となる資格を拡大しました。

● 対象資格

- ▼ これまでの対象資格
(准)看護師、介護福祉士、保育士、理学療法士、作業療法士
- ▼ 今回拡大分の対象資格
助産師、保健師、臨床検査技師、柔道整復師、はり師、きゅう師、言語聴覚士、歯科衛生士、歯科技工士、社会福祉士、精神保健福祉士、調理師、栄養士、管理栄養士、理容師、美容師

● 支給額

- ▼ 高等技能訓練促進費
市町村市民税非課税の人
月額141,000円
- ▼ 入学支援修了一時金
市町村市民税課税の人
月額70,500円

- 市町村市民税課税の人
50,000円
- 市町村市民税課税の人
25,000円
- 手続き方法 福祉課への事前相談が必要になります。

ながさき子育て支援表彰を受賞しました。

県では、社会全体で子育てを支援する機運を醸成するために「ながさき子育て支援表彰」を実施しています。

1月17日、長崎ブリックホール(長崎市)で、平成21年度の表彰式が開催され、地域の子育て支援への貢献が顕著な団体に贈られる「地域子育て支援功労者表彰」を読み聞かせボランティア紙風船が受賞されました。

また、18歳未満の子どもが5人以上いる家庭で、明るい子育てを実践している家族に贈られる「子育て大賞」を磯田勝行さん(鏡川町)の家族が受賞されました。



▲「子育て大賞」を受賞した磯田勝行さん(鏡川町)の家族



▲「地域子育て支援功労者表彰」を受賞した「読み聞かせボランティア紙風船」のみなさん

※平成21年の5月号から掲載してきました「Happy子育て応援隊」のシリーズは、今月号で終了します。

今後も、随時、子育てに関する情報をお伝えしていきますが、子育てに関する、悩みや相談などは、福祉課子育て支援班にお気軽におたずねください。





▲旧武家屋敷の大曲邸に訪問。和風建築のたずまいとツバキの展示を満喫しました。

黒田市長の平戸初体験記
旧武家屋敷での椿展と田平町つばき物産展

平戸には四季折々の草花に恵まれた美しい景観があちこちに点在しています。春はサクラやヒラドツツジ、夏はクマノギクやコオニユリ、秋は平戸の固有種であるイトラッキョウ、冬はサザンカやツバキなどが、平戸を彩り多くの人々の心を和ませてくれます。

3月5日には、県が平戸石川のハルサザンカを文化財として指定したことは、本紙でも紹介していますが、県指定の天然記念物として田平町海寺跡のハナモクレン、平戸市の天然記念物「ドサキサク」なども有名です。

2月27日には、平戸市椿・山茶

花振興会のみなさんによる恒例の平戸椿まつりが開催されましたが、今回は、旧武家屋敷を改装して建物の格式高い趣に加え、庭園の素晴らしさとコラボレートした平戸ならではの展示会が演出されました。さらに、呈茶のサービスもあるなど、まさに成熟した大人の文化に触れることができた次第です。

同日には、田平町の町民センターで田平つばき物産展が開催され、町花でもあるヤブツバキに関するあらゆる芸術が会場いっぱい展示されていました。世代を超えてツバキの美しさを鑑賞できる意義深いイベントに感動しました。こうした「平戸だからこそ可能な魅力の発信」について、関係するみなさんの活動をしっかりと応援してまいります。

▼田平町民センターに展示されたツバキ作品の数々、芸術性の高さに圧倒されました



vol.3

国際交流員
 レムコー・フロライクの
HIRADO -change
 平戸と世界をつなぐコーナー

「身近な世界遺産」

オランダという風車のイメージがありますね。100年前までオランダには、1万基の風車がありました。現在は1,200基ぐらしか残っていません。私の地元の近くには、風車の世界遺産がありますが、私としては普通の風景ですので、どうして世界遺産になったのか最初は分かりませんでした。

平戸に住み始めて、市外・国外からたくさん友だちが遊びに来た時、私は、必ず平戸の魅力を感じる小道を案内してあげます。でも、平戸に来てから、少しずつ小さな道がなくなっています。大きな道を作ると走りやすくなるかもしれませんが、日本ではコンクリートを使っている量がとても多くて、自然を感じなくなるので、平戸らしい風景が破壊されていると思います。

外国人は日本に来たとき、道に使っているコンクリートの量にびっくりします。道の管理は仕事になるし、安全のためにも大切だと思いますが、別の方法で小道や石垣を守ることもできると思います。

「長崎の教会群とキリスト教関連遺産」は世界遺産を目指しています。平戸の文化的な風景は、そのための大切な文化財です。みなさんはどう思いますか？平戸は世界遺産だと思いますか？風車が私にとって普通なものと同じように、棚田と小道は平戸のみなさんにとって普通の風景かもしれません。しかし、平戸の自然豊かな風景は、素晴らしいものです。みなさんが、もっと誇りを持って、もっと自然と文化財を保護すれば平戸は世界遺産になれると、私は信じています！

今月のおすすめ本

としょかん みんなの図書館

このほかにもたくさんの新着図書があります!!



『さくら』
 文/長谷川楨子
 絵/矢間 芳子
 出版社/福音館書店

わたしは、さくらの木。春には桜を咲かせます。その花が散った後には、葉っぱの赤ちゃんが出てきます…。一本のさくらの一年のドラマをつづった絵本です。春の訪れを感じる一冊です。

大平



『はじめてのひとり暮らし 超基本BOOK』
 編集/主婦と生活社
 出版社/主婦と生活社

この春、新しい生活がスタートする方におすすめの一冊！ひとり暮らしってどのくらいお金がかかるの？そんな疑問からインテリアの基本、家事や料理のコツ、防犯テクまで、詳しく解説しています。

南



『虫の目で狙う奇跡の一枚』
 著/栗林 慧
 出版社/金の星社

虫の目になって、虫の写真を撮りたい。独自のカメラで、だれも見なかった世界を写しとるとチャレンジを続ける、田平町在住の昆虫写真家・栗林慧さんが半世紀にわたる情熱の軌跡をつづった一冊です。

田平



『ホームパーティー BOOK 楽しくておいしくて簡単! おうちパーティーレシピ集』
 著者/岸本ゆきえ
 出版社/グラフィック

いろんな季節、シーンにあわせたホームパーティー。友達を招待したり、家族で楽しむパーティーにとっても簡単でしかも華やかなアイデア満載のレシピを多数紹介しています。

生



『ナナのたんぼぼカーニバル』
 著/あんびるやすこ
 出版社/岩崎書店

ナナはシルクに、春のお祝いをするたんぼぼカーニバルに着ていくドレスを作ってもらうことになりました。カーニバルには、黄色いドレスを着ていなくてはなりません。さて、ナナはどんなかわいいドレスを作ってもらおうのでしょうか…。

平



『wonder wonderful 君がくれた世界』
 著者/河上 朔
 出版社/イースト・プレス

「ルカナート13歳の初恋」「シルヴィアナとライオスの恋」…など4つの短編を収録した作品。それぞれの大切な出会いを描いた大人の異世界トリップファンタジーです。

永

※平：平戸図書館 永：永田記念図書館 南：南部公民館図書室 生：生月町中央公民館図書室 田：田平町中央公民館図書室 大：大島村公民館図書室

～図書館からのお知らせ～

平戸図書館 ☎22-4017
 ◎休館日/6日図、13日図、20日図、25日図、27日図

●4月の主なもよおし●
 ■おはなし会/毎週土曜日 午後2時～
 ■赤ちゃんおはなし会/14日図 午前10時30分～ 北部公民館 和室大

永田記念図書館 ☎28-0128
 ◎休館日/6日図、13日図、20日図、25日図、27日図

●4月の主なもよおし●
 ■おはなし会/3日田・17日田・24日田 午後2時～ 市ふれあいセンター児童室
 ■映画会/10日田 午後2時～ 市ふれあいセンター児童室
 ・ほくととききぶた (25分)
 ・花咲か爺さん 他 (50分)

子ども読書週間おはなし会
 4月23日～5月12日は、「こども読書週間」です。図書館でも、人形劇、大型絵本などのおはなし会を開催します。
 と き 4月24日(土) 午前10時～11時30分
 ところ 市ふれあいセンター ゆめホール





Interview

大曲 裕子 おまがり ひろこ
お庭公開ボランティア
訪れたみなさんの喜びの声が
日々の作業の励みです

モモの花が見事に咲いた武家屋敷の庭を手入れしている人がいます。大曲裕子さんです。高校卒業後、東京で働いていましたが、見えない糸に引かれるように10年ほどで平戸に戻ってきました。久しぶりの我が家は、まるで廃墟のように荒れ果てていました。それから、たった一人でへとへとになりながらも家の手入れを続けました。平戸に戻って35年が過ぎた頃、転機が訪れました。同じく庭を維持しているご近所のみなさんが「庭を守る会」を作り、庭を一般公開することになったのです。



生涯学習実践人
大曲 裕子さん
◎岩の上町(71)

平戸庭を守る会。太極拳と60歳を過ぎてから習いだめたピアニが健康とボケ防止に役立っているとか。一番の趣味はつつじの剪定と草取りかも

ここでは、ほかの参加者と共に庭を一緒に整備するなどの活動を通じ、世界が広がりました。何より庭の公開で訪れたみなさんの「素晴らしいですね」の一言に励まされています。「以前は、現代的で便利な家に住みたいと思ったこともありましたが、今では、みなさんに喜んでいただけると、先代から受け継いでいただけると、今後も大切に守っていきたく」と初めは重荷に感じた庭や武家屋敷を今は、宝として受け入れることができると、すがすがしい笑顔で話してくれました。

庭と平戸つつじを大切に守っています

古くていいものは先祖からの預かり物。負担は大きいけど大事に管理しています。

GW ゴールデンウィーク
EVENT INFORMATION

家族揃って 出かけよう!

いきつき春まつり
in 生月島2010

5月2日(日)~5月4日(祝・火)

■主なイベント

- 2日(日) / 生月漁協会場
 - ◆生月たこフェスタ2010 9:00~
 - ◆鮮魚販売や生かき、和牛バーベキューも楽しめます!
 - 3日(祝・月) / 館浦漁協会場(大敷食堂横)
 - ◆漁師料理&バーベキュー 11:00~
 - ◆水産加工品販売
 - 4日(祝・火) / 道の駅「生月大橋」生月ビーチ
 - ◆生月ビーチ宝探し 10:00受付開始 11:00スタート
 - ◆生月の新鮮な農水産物の販売も行います!
 - ※天候等の事情により、一部イベント内容が変更になることがあります。
- お問い合わせ いきつき春まつり実行委員会
(平戸市商工会生月支所内) ☎53-0216



Topix



福岡市のホテルのレストランで平戸の食材をPR!

3月1日から4月30日までの2カ月間、西鉄グランドホテル(福岡市中央区)で「平戸フェア」が開催されています。期間中は、ホテル内の直営レストラン4店舗で、平戸和牛のステーキやヒラメ、ウチワエビ、アスパラガスなどを使った料理が提供されています。

また、3月16日には、平戸産食材を使った「美食会」が開催されました。食材は、磯山総料理長が平戸の生産者現場を見て選んだこだわりのものを提供。黒田市長や生産者のみなさんも参加し、連携して平戸の食材のPRを行いました。参加した120人は、おいしい平戸の食材の魅力と料理に大変満足していました。

GW は平戸の食で満喫!

平戸市春の産業まつり 平戸海道渡海人祭



第15回平戸海道渡海人祭

平戸の特産品が一堂に集まる平戸海道渡海人祭。大人気の「地引網&魚つかみ大会」や「セーリングヨット体験」などのイベントが楽しめるほか、炭火焼で楽しむ平戸和牛のバーベキューなど、おいしさと楽しみ満点のイベントです。
■とき 5月3日(祝・月)~5日(祝・水)
午前10時~午後5時
■ところ 平戸大橋公園特設会場
お問い合わせ
平戸市産業まつり実行委員会
(平戸商工会議所内) ☎22-3131

第10回おさかな祭り

志々伎で獲れた活魚・鮮魚の直売会。その場で食べられる焼き台コーナーも設置されていますので、新鮮な海の幸がすぐに味わえます。
■とき 5月4日(祝・火)
午前10時~午後2時
■ところ 志々伎漁協敷地内
お問い合わせ
志々伎漁業協同組合 ☎27-1144

漁師の市場

平戸近海で水揚げされた新鮮な魚介類や「平戸漁師の天日干し」などの水産加工品、平戸名産「川内かまぼこ」の販売やサザエの炭火焼などが楽しめます。
■とき 5月1日(土)午後1時~午後4時
■ところ 中野漁協直売所
お問い合わせ
中野漁協協同組合 ☎24-2221



みんなでつくる 楽しくつくる 協働でつくる 未来の平戸

IV その他の補助金一覧表

ひらど豊かな人づくり推進事業補助金
地域の特色を活かしたまちづくり活動を行う団体の育成・活動事業に対する助成 【担当課】企画課、各支所市民協働課
国際交流振興事業補助金
諸外国との交流を深めるために国際活動を行う団体の活動事業に対する助成 【担当課】市長公室、各支所市民協働課
にぎわいづくり支援事業補助金
観光・商工の振興につながるイベントを開催する団体、特色ある商品の開発などに取り組む個人・団体の活動に対する助成。新事業具体化のための活動経費に対する一部を助成 【担当課】観光物産振興課、商工振興課、各支所産業建設課
花とみどりのふるさとづくり事業補助金
花壇整備やフラワーポットの設置整備を行っている地区や団体に対する助成 【担当課】市民課、各支所市民協働課
ひらどふれあい福祉事業補助金
ボランティアや福祉団体などが行う福祉活動の向上を図るための活動に対する助成 【担当課】福祉課
コンベンション開催事業費補助金
研修会、合宿および会議などの開催により市外から誘客を図る事業に対する助成 【担当課】観光物産振興課、各支所産業建設課
スポーツ振興事業補助金
地域スポーツの振興と普及、競技力の向上を図る個人、団体の活動に対する助成 【担当課】生涯学習課、教育委員会各分室



▲もちつきで三世代交流を行った「大島村青年団」

III 市民力アップ支援 事業補助金

▼予算額1,500万円
★今年度から補助率を5分の4から10分の9へ、上限を300万円から500万円に変更しました！

- 募集事業 市民活動団体などが実施する市民活動の拠点施設整備や街中の休憩施設などを整備する事業
- 事業例 空き家などを活用した活動拠点(コミュニティの場)の整備や地域文化の情報発信を目的とした看板の設置など

- 応募資格 市内に住所を有する5人以上で組織された団体で、次の要件に該当するもの
- ※営利団体であっても事業内容が公益的な場合は可
- ①年間の活動計画が明確であること
- ②申請団体が既存団体の下部組織である場合は、当該事業において上部組織から助成を受けていないこと
- ③対象事業が国、県およびその他の団体などから助成を受けていないこと
- 補助額 500万円以内(1団体当たり)



▲各種団体の交流拠点にするため、熊澤家を改修した「庭を守る会」

お問い合わせ
企画課協働まちづくり班
(内線2333)

- 選定方法 事業の選定は、申請団体によるプレゼンテーションの実施および生き生きまちづくり推進委員会による審査で決定します。



平成22年度の補助事業募集 市民の 気 を応援します

元気・やる気・その気

募集期間 4月1日(木)～30日(金)

補助事業の内容は、次のとおりです。具体的な募集要項や応募様式などは、企画課および各支所、各出張所、市ホームページで取得できます。

I やらんば市民活動 モデル事業

▼予算額1,000円

- 募集事業 市から出されるテーマと仕様書などを基に、市内の市民活動団体などが、自らの自由な発想で企画立案し、運営していただく提案公募型の事業で、次の要件に該当するもの
- ①市内で実施する事業で、広く市民にも還元される事業であること
- ②市やほかの機関などへの要望や既に助成を受けている事業でないこと
- ③提案団体の運営費や備品など財産の取得を目的としないこと
- ▼テーマ名
- ①地域防災力の向上
- ②ゴミ減量化による地球温暖化対策の推進
- ③高齢者・障害者世帯の生活支援

- ④小学生の放課後における居場所づくり
- ⑤健康づくりのための生活習慣の改善
- ⑥食育活動の推進
- ⑦みんなで創る「故郷の森林」
- ⑧集落の農業資源を有効活用したまちづくり
- ⑨魚食普及「水産物の消費拡大推進」
- ⑩人・笑顔・街・元気のまちなか活性化
- ⑪家庭と学校と地域がつながる「まち家族化計画」
- ⑫生涯学習講座の企画運営
- ⑬歴史的建造物・町並み・史跡等を活かした地域づくり
- ⑭伝統芸能・祭・行事を活かした地域づくり
- ⑮自由テーマ
- 応募資格 応募対象団体は、公益活動を行う団体や自治会、市民活動団体、または民間企業で、次の要件に該当するもの
- ①公益活動を行う事業であること
- ②市内に活動拠点があること
- ③事業の企画から実施、運営、完了まで実行できること
- ④政治・宗教活動などを目的としないこと



▲ボランティアガイド養成のため、平戸学検定の講習会を開催した「NPO法人平戸観光ウェルカムガイド」

- 対象経費 事業実施に必要な経費
- 委託料 100万円以内(1団体当たり)
- 選定方法 事業の選定は、応募団体によるプレゼンテーションの実施および協働まちづくり推進委員会による審査で決定します。
- 募集事業 市民活動団体などが企画、実施するまちづくり事業

II 地域コミュニティ活動 推進事業補助金

▼予算額2,300万円

※市税の約1%を全体事業費として、合併前の旧市町村(平戸880万円、生月500万円、田平525万円、大島395万円)ごとに予算を配分して補助金を交付します。

- 事業例 地域文化の継承、イベント開催、地域で取り組む環境整備など
- 補助額 100万円以内(1団体当たり)
- 申請資格 市内に住所を有する5人以上で組織された市民活動団体で、次の要件に該当するもの
- ※営利団体であっても事業内容が公益的な場合は可
- ①年間の活動計画が明確であること
- ②団体に加入している人が、市税などを滞納がないこと
- 対象経費 事業実施に必要な経費 ※実施団体の備品など財産の取得は対象外
- 選定方法 事業の選定は、申請団体によるプレゼンテーションの実施及び地域審議会・地域協議会による審査で決定します。

市では、協働によるまちづくりの実現を目指し、各種施策に取り組んでいます。平成22年度も市民が自ら企画、運営する事業などを積極的に応援していきます。

部制導入でどう変わる市役所の組織 Q&A

ここでは、組織再編による部制導入への疑問についてお答えします。

Q1 導入の狙いは何?

A. 今までの行政組織は、30の課がありましたが、同種の課を束ねる17の部を設置しました。このことにより、縦割りの組織でなく、幅広い政策展開と課を越えた連携が強化されます。また、部を設置することにより、市民のみなさんが複数の課で行っていた相談などが一つの部で対応できるなどの効果があります。

Q2 部長職が17人、課長職が34人だと、管理職が増え、加えて、部長の給料が上がるのでは?

A. 部制導入に当たっては、行財政改革を実現することも狙いの一つです。部長の給料や管理職手当は、旧課長と同じとし、新課長は旧課長補佐と同じ給与に格付けしましたので、部長になったからといって給料が上がる人はいません。逆に、課長補佐制度を廃止しましたので、管理

職の数は、平成24年度には3分の1ほど減る予定となり、その時点で行革効果として、年間2億2,600万円の節減となります。

Q3 マニフェストで提示した「副市長の1人制」および生月・大島自治区の特別職の区長を廃止したことによる人件費の削減効果は?

A. 副市長を2人から1人に、特別職の区長2人を廃止したことにより、年間約2,800万円の削減となります。

また、副市長は4年ごとに退職金約860万円、区長は2年ごとに1人あたり約230万円の退職金を受け取るようになりますが、これも必要なくなります。

Q4 組織の見直しはこれで終わりでしょうか?

A. 市役所の組織は、常に効率性が求められています。また、その時代ニーズなどに合わせて流動的です。これで組織の見直しが終わりということはありません。平成22年度は、部制導入の経過を見ながらさらに細部にわたる検討を行い、機能的で、行財政改革につながる組織の見直しを実施します。

4月から市の組織再編による部制導入を実施

市民ニーズをよりの確に把握し、縦割り行政から課の垣根を越えた横断的な行政への転換を図るために、4月1日からこれまでの課をまとめる部を設置する組織変更を行いました。

基本的に課の業務は、これまでと変わりませんので、申請や相談などの窓口が変わることはありません。

※一部、課の名称変更や他課へ移管する業務もあります。

Top Interview



平戸市長 黒田 成彦

行政組織のあり方は、市民にとって分かりやすく、利便性の高いものでなければなりません。また、行政側の二面的な都合による縦割りであったはず、常に市民の目線で物事を捉え、複雑な社会情勢や多様化する価値観に柔軟に対応できる組織体でなければならぬと考えています。このことを基本として、1月からは市長公室を設置し、4月からは部制導入を行いました。部制については「屋上屋を重ねる」、「3万人規模の自治体にはふさわしくない」などの意見もありましたが、十分に行財政改革にも資する制度として導入いたしました。平戸市の活性化のためには、課の範囲を超えた幅広い政策実現が求められています。部制導入は、住民サービスの向上と職員の意識改革、そして行革効果によって得られる財源を有効に活用することで、市民の福祉の向上や地域活性化に欠かせない、重要な柱であると考えています。

市民のみなさんの利便性を高めるための部制導入

部制導入の効果により管理職の数を削減

3月31日現在管理職数

課長職 30人 (管理職手当12%)
主幹 4人 (管理職手当9%)
課長補佐職 44人 (管理職手当8%)

計78人 ⇒

4月1日現在管理職数

部長職 17人 (管理職手当12%)
理事、政策監 11人 (うち課長兼務7人) (管理職手当9~10%)
課長職 25人 (管理職手当8%)
参事監 17人 (管理職手当7%)

計69人 ⇒

平成24年4月1日管理職数(計画人数)

部長職 17人 (管理職手当12%)
課長職 34人 (管理職手当8%)

計51人

27人削減

※以後、毎年2億2,600万円の削減効果が実現!

- 部長を新設し課長補佐を廃止します。
- 管理職には、上記のほか、特定の事項を担当する参事などがあります。
- 理事、政策監および参事監は特定の重要事項を担当します。
- 管理職数は、教育委員会の出先など一部省略しています。



【特集】

組織再編

まちづくりを実践する新しい組織がスタートします

みんな納めよう 老後の幸せ国政体

効率的・戦略的な行政経営を推進し、 市民サービスを最優先に 「協働のまちづくり」を実践します。



部制導入による新たな 行政組織体制

現在の課単位の組織から、関係する部門が束ねられた部単位の組織になることで、課を越えた連携が強化されます。縦割りの組織から横断的な行政への転換を促進させます。

例えば、福祉関係3課を束ねる福祉保健部長を置くことで、福祉と保健の連携が強化され、住民サービスがより向上するなどの効果が表れます。

部名	課名	主な業務内容
建設部	建設課 (旧国土調査課を統合)	市道の新設・改良・維持・原材料支給、急傾斜地崩壊対策事業、公共土木施設災害復旧事業(道路・河川)・河川災害復旧事業、国土調査事業など
	都市計画課	公営住宅、都市計画事業、都市公園、景観計画事業、まちづくり事業、港湾事業、港湾区域内の占用・使用許可・プレジャーボート係船許可など
会計管理者	会計課	予算支出の審査・指導、市有物品管理、指定金融機関との連絡調整
水道局		水道水の供給、水道施設の維持管理、水道施設の新設・改良事業など
消防本部		消防団、危険物施設許認可、火災原因・損害調査業務、消防、救急、救助業務など
教育委員会事務局	教育総務課 (旧庶務課)	教育委員会、学校予算全般、学校施設の建設・管理、学校給食、教員住宅、就学援助、奨学資金、遠距離通学対策など
	学校教育課	小・中学校の指導(教育内容・人事事務ほか)、児童生徒教育相談、特別支援教育相談、ALT(英語指導助手)派遣、学校図書館、児童生徒・教職員の保健事務など
	生涯学習課	生涯学習・社会教育・社会体育の推進、社会教育・体育施設の維持管理など
	文化遺産課	世界遺産登録、文化振興、文化財調査・保護、和蘭商館復元など
議会事務局		本会議・委員会などの運営、議会中継、議会広報紙の発行、請願などの受理など
選挙管理委員会事務局		各種選挙事務、選挙管理委員会事務局など
監査委員事務局		定期・臨時・行政等監査、公平委員会事務局など
農業委員会事務局		遊休農地対策、農地の権利移動・設定・転用など
病院局(平戸市民病院・生月病院)		診療、健康増進、疾病予防、リハビリテーションなど

◎支所組織

部名	課名	主な業務内容
各支所 (生月支所) (田平支所) (大島支所)	市民協働課	協働によるまちづくり推進、嘱託員および自治会、地域協議会事務局、戸籍・税・国保・年金・福祉などの総合窓口、環境衛生など
	産業建設課	公共施設の維持管理、各種イベント事業、農林水産、公営住宅などの届出受付、相談業務など
	教委分室	社会教育・体育の推進、教育・体育施設の維持管理、文化振興など

◎本庁組織

部名	課名	主な業務内容
市長公室		要望陳情、広聴、移動市長室、重要施策の推進、国際交流、嘱託員および自治会、広報紙の発行、秘書など
総務部	総務課	市議会の招集、議案の調整、条例・規則などの審査、市民相談、防災、国民保護、職員給与支給、人事管理、共済組合業務など
	企画課	総合計画、協働によるまちづくり、地域づくり活動支援、交通政策、情報システム管理、地上波デジタル放送対策、統計など
	財政課	予算の編成、地方交付税、財政計画、工事・物品等にかかる指名・入札・契約、普通財産の取得・処分・管理など
市民生活部	市民課	戸籍、住民基本台帳、印鑑登録、埋火葬許可、外国人登録、廃棄物処理、指定ごみ袋、浄化槽補助金、犬の登録、交通安全、防犯など
	税務課	市税申告・確定申告、固定資産税、市民税・軽自動車税・国民健康保険税納税組合、滞納処分、市税の証明など
福祉保健部	福祉課 (福祉事務所)	民生委員、障害者福祉、生活保護、児童福祉、子ども手当、母子・父子福祉、保育園、福祉医療、原爆被爆者擁護、戦没者遺族等擁護など
	長寿保険課 (旧保険福祉課)	介護保険、高齢者福祉、老人クラブ、敬老・長寿祝金、国民健康保険、後期高齢者医療、国民年金など
	保健センター	特定健康診査・特定保健指導、予防接種、母子保健、がん検診、介護予防、食育、高齢者権利擁護など
観光商工部	観光物産振興課 (旧観光商工課)	観光宣伝、特産物の奨励、温泉施設管理、自然公園の維持管理など
	商工振興課 (旧観光商工課)	商工業の振興、企業誘致および立地推進、地場企業の振興など
農林水産部	農林課	農業振興、畜産振興、有害鳥獣対策、造林・緑化推進、鳥獣保護、農地等災害復旧事業、農道・ため池など
	水産課	水産振興、漁場・漁港施設の整備、漁港施設の災害復旧事業、漁港区域内の占用・使用許可・プレジャーボート係船許可など



お知らせ
INFORMATION

職員の人事異動をお知らせします

—平成22年4月1日付(係長職以上)— 〔聞〕総務課人事班 ☎内線2317

新役職名	氏名	旧所属・職名	新役職名	氏名	旧所属・職名
総務部					
部長兼選挙管理委員会事務局長	戸田 幾嘉	総務課長	理事兼観光物産振興課長	松田 範夫	観光商工課長
理事(行革推進担当)	小川 茂敏	市長公室主幹(行革管理担当)	観光物産振興課		
理事兼企画課長	山口 龍一郎	生涯学習課長	観光振興班長	村田 勝	観光商工課観光班長
理事兼財政課長	山野上 和則	選挙管理委員会事務局長	物産振興班長	近藤 善弘	観光商工課商工物産班長
理事(契約官財担当)	岡 恭市	監査委員事務局長	商工振興課		
総務課			課長	加藤 栄一	観光商工課長補佐
課長	村田 範保	総務課長補佐兼人事班長	参事監(企業立地推進担当)	白石 二也	観光商工課長補佐兼企業立地対策室長
参事監(行政担当)	度嶋 悟	総務課長補佐兼行政班長	商工労政班長	掛屋 信子	南部出張所係長
行政班長	池田 修二	総務課行政班係長	農林水産部		
人事班長	山川 政幸	総務課主査	部長	川久保 喜市	長崎県農林部参事監(農林振興担当)
企画課			理事兼水産課長	松尾 国夫	水産課長
参事監(企画調整担当)	森川 祐輔	企画課長補佐兼地域振興班長	農林課		
政策企画班長	久保田 豊	企画課企画調整班長	課長	松山 稲敏	農林課長補佐
情報統計班長	林 誠	企画課地域振興班係長	参事監(事務担当)	宮島 道幸	庶務課長補佐兼施設給食班長
情報統計班係長	田口 和義	企画課情報化推進班係長	参事兼農務班長	百枝 史朗	農林課参事(営農担当)
協働まちづくり班長	松本 幸盛	水産課水産振興班係長	農務班係長	大浦 久典	農林課主査
財政課			農林整備班長	村井 晃	農林課耕地班係長
参事監(財政担当)	平松 貫治	財政課長補佐兼財政班長	農林整備班係長	山下 実	農林課林務班長
財政班長	田中 弘樹	財政課財政班係長	農林整備班係長	諸藤 秀法	田平支所産業建設課産業建設班係長
市民生活部			水産課		
部長	田島 元一	財政課長	参事監(水産振興担当)	染川 勝英	水産課長補佐兼観光商工課長補佐
理事兼税務課長	松山 久興	税務課長	水産振興班長	岩井 正勝	水産課総務班長
市民課			水産振興班係長	矢田 大輔	水産課水産振興班長
課長	吉村 藤夫	北松北部環境組合次長	建設部		
参事兼環境交通班長	富岡 末仁	生月町衛生センター所長	部長	松本 正治	建設課長
環境交通班係長	岩永 耕一	市民課環境交通班長	理事兼都市計画課課長	山浦 直美	都市計画課長
税務課			政策監(まちづくり担当)	末吉 直幸	水産課主幹兼課長補佐
参事監(滞納対策担当)	榎田 俊介	企画課長補佐兼観光商工課長補佐	建設課		
参事監(課税担当)	川 潤	税務課長補佐(課税担当)	課長	白菊 敏夫	都市計画課長補佐(まちづくり担当)
住民税班長	田中 和広	生涯学習課生涯学習推進班係長	参事監(事務担当)	石橋 国弘	生月支所産業建設課長
福祉保健部			参事監(国土調査担当)	畑原 芳文	税務課長補佐兼滞納対策室長
部長兼福祉事務所長	田代 久光	保険福祉課長	参事兼道路班長	川上 利之	農林課耕地班長
福祉課			国土調査班長	松本 哲朗	国土調査課主査
課長	里見 博明	田平支所市民協働課長	都市計画課		
参事監(生活福祉担当)	楠 富誉	福祉事務所次長	参事監(事務担当)	末永 寛	都市計画課長補佐兼総務住宅班長
総務班長	藤澤 茂則	田平支所市民協働課市民班長	総務住宅班長	近藤 正己	都市計画課総務住宅班係長
生活福祉班長	藤澤 茂則	福祉事務所生活福祉班長	会計課		
子育て支援班長	尾崎 利美	福祉事務所子育て支援班長	会計管理者兼会計課長	山口 均	ふれあいセンター主幹兼館長
障害福祉班長	大浦 貢	福祉事務所障害福祉班長	参事監(審査担当)	本村 哲雄	会計課長補佐兼審査班長
長寿保険課			会計班長	西 寿代	文化遺産課和蘭商館復元推進班長
課長	佐々木 信二	保険福祉課長補佐(離島医療担当)	水道局		
参事監(長寿福祉担当)	深江 明美	北部給食共同調理場事務長	参事監(事務担当)	濱崎 吉男	水道局次長
介護保険班長	横山 勇記	保険福祉課介護保険班長	給水班係長	尾崎 浩一	水道局生月分室水道班長
介護保険班係長	松山 恵美	保険福祉課介護保険班係長	生月分室		
国保年金班長	峯野 正博	保険福祉課国保年金班長	水道班長	石原 賢次	水道局給水班係長
保健センター			監査委員事務局		
事務長	岡部 輝幸	保健センター次長(包括支援センター担当)	事務局長	大浦 啓一	農林課長
在宅高齢者支援班長	石田 宏明	保健センター福祉サービス班係長	次長	浦辺 信好	南部公民館長
健康づくり推進班長	堤 幸子	保健センター保健サービス班係長	選挙管理委員会事務局		
保健サービス班係長	小川 聖子	福祉事務所障害福祉班係長	次長	濱田 裕孝	生月支所市民協働課課長
観光商工部			農業委員会事務局		
部長	永田 米吉	企画課長	事務局長	川口 敬	農林課長補佐兼観光商工課長補佐

新役職名	氏名	旧所属・職名	新役職名	氏名	旧所属・職名
教育委員会			副署長兼第2係長	西岡 正幸	消防署中津良出張所所長
教育次長	松田 隆也	庶務課長	消防署中津良出張所		
理事兼学校教育課長	守山 育範	学校教育課長	所長	真辺 毅	消防本部警防係長
理事兼ふれあいセンター館長	田中 義則	福祉事務所長	生月支所		
政策監兼教育委員会生月分室長	松本 昇堅	教育委員会生月分室主幹兼分室長	支所長	内山 久夫	会計管理者兼会計課長
政策監兼教育委員会田平分室長	内海 徹	教育委員会田平分室主幹兼分室長	生月支所市民協働課		
教育総務課			課長	村瀬 惣治	文化遺産課長補佐(世界遺産担当)
課長	岡 康則	財政課長補佐兼契約官財班長	参事兼市民班長	宮崎 正則	館浦出張所所長
参事監(館浦給食共同調理場事務長)	横山 晴	中南部給食共同調理場事務長	生月支所産業建設課		
総務施設班長	石田 篤男	総務課人事班係長	課長	船原 正司	企画課長補佐兼地域協働推進室長兼地域協働推進班長
総務施設班係長	田崎 大二	生月支所市民協働課市民班長	田平支所		
学校教育課			支所長	中村 幸一	市民課長
参事監兼指導主事	田中 広明	学校教育課主幹兼指導主事	田平支所市民協働課		
参事監兼指導主事	森 崇真	学校教育課主幹兼指導主事	課長	前田 洋志	税務課参事兼住民税班長
参事兼指導主事	木寺 剛	中野中学校教頭	市民班長	金子 重貴子	田平支所市民協働課市民班係長
参事兼指導主事	曾川 和則	長崎大附属小学校教諭	田平支所産業建設課		
生涯学習課			課長	松本 和之	田平支所産業建設課参事兼産業建設班長
課長	氏田 善也	生涯学習課長補佐兼スポーツ振興班長	産業建設班長	藤山 定	国土調査課国土調査班係長
参事監(団体担当)	平松 繁己	中部出張所次長	産業建設班係長	大浦 雄二	建設課道路班長
生涯学習推進班係長	鴨川 恵介	平戸市民病院総務班長	大島支所		
スポーツ振興班長	今村 達也	生涯学習課スポーツ振興班係長	支所長	永田 郁郎	保健センター事務長
文化遺産課			大島支所市民協働課		
課長	橋口 幹生	文化遺産課長補佐兼和蘭商館復元推進室長	課長	久保田 博子	大島支所市民協働課長補佐兼福祉保健班長
平戸市民病院			福祉保健班長	田島 洋子	大島支所産業建設課産業建設班係長
総技師長	大石 典史	平戸市民病院総技師長兼リハビリテーション班長	大島支所産業建設課		
看護師長兼外来看護班長	横山 厚子	生月病院看護師長兼一般病棟看護班長	産業建設班係長	田中 一裕	教育委員会田平分室係長
看護師長兼療養病棟看護班長	濱田 頼子	平戸市民病院看護師長兼外来看護班長	中部出張所		
看護師長兼地域連携班長	井手 千雪	平戸市民病院一般病棟看護班看護師主任	参事監兼次長	久家 啓史	監査委員事務局次長
総務班長	赤木 誠治	庶務課総務班長	係長	松元 明信	選挙管理委員会事務局係長
外来看護班看護師主任	山浦 和子	平戸市民病院一般病棟看護班看護師主任	長崎県派遣		
一般病棟看護班看護師主任	岳下 京子	平戸市民病院主任	係長	浅田 秀樹	農林課農務班長
療養病棟看護班看護師主任	中野 裕子	生月病院一般病棟看護班看護師主任	大島診療所		
リハビリテーション班長	年徳 裕美	平戸市民病院理学療法士	事務長	工藤 大介	財政課参事兼契約官財班係長
生月病院			南部公民館		
看護師長兼外来看護班長	末永 久美	平戸市民病院看護師長兼療養病棟看護班長	館長	近藤 晃	建設課長補佐
看護師長兼一般病棟看護班長	松本 千信	生月病院看護師長兼外来看護班長	教育委員会田平分室		
一般病棟看護班看護師主任	杉村 つづみ	平戸市民病院療養病棟看護班看護師主任	係長	村川 宏	保健センター福祉サービス班長
消防本部			教育委員会大島分室		
庶務係長	川口 智和	消防本部庶務主任	係長	江口 浩幸	大島診療所係長
消防団係長	本山 繁治	消防署副隊長	館浦出張所		
予防係長	松山 幹夫	消防署中津良出張所副所長	参事監兼所長	山見 弘幸	保険福祉課長補佐兼長寿福祉班長
危険物係長	大石 宇一	消防署中津良出張所分隊長	生月保育所		
警防係長	大浦 忠彦	消防本部救急救助係長	所長兼山田保育所長兼山田児童館長	石丸 至子	山田保育所兼山田児童館長
救急救助係長	篠田 修一	消防署副隊長	生月町衛生センター		
消防署			係長	松永 健治	市民課環境交通班係長
副署長兼第1係長	川村 茂実	消防署副署長兼第2係長			

退職者氏名	旧所属・職名	退職者氏名	旧所属・職名	退職者氏名	旧所属・職名
井上 玄一	国土調査課長	白石 守男	建設課長補佐	加藤 満好	消防本部予防係長
宮崎 利幸	農業委員会事務局長	平野 加代子	会計課長補佐兼出納班長	林田 はつえ	平戸市民病院外来看護班看護師主任
萩原 博文	文化遺産課長	宮崎 幸子	福祉事務所参事兼総務班長	末永 宗昭	生月支所市民協働課主査
安田 豊	田平支所長	松山 茂吉	国土調査課参事兼国土調査班長	永田 健治	学校教育課指導主事
竹元 清	国土調査課主幹兼課長補佐	中山 文子	生月保育所参事兼保育所長	柴田 真一	消防署田平出張所副所長
片山 利行	都市計画課主幹(施設担当)	石見 清一	大島診療所参事兼事務長	隈 秀敬	消防署田平出張所分隊長
高橋 正伸	学校教育課主幹兼課長補佐兼指導主事	北島 清次	消防署副署長兼第1係長	松瀬 康子	中部中学校用務員
青嶋 光國	田平支所産業建設課主幹兼課長	石田 正	消防本部消防団係長	堤 竜二	平戸市民病院医師
吉住 恒徳	大島支所市民協働課主幹兼課長				

平戸・生月大橋無料化記念で観光施設を無料開放!
4月1日からの平戸・生月大橋の通行料無料化を記念し、市内の観光有料施設5施設を無料開放します。ぜひこの機会に、平戸の歴史や文化の魅力を伝える施設にご来場ください。
○無料開放日 平成22年4月の土日祝日(9日間)
○対象施設 平戸城、松浦史料博物館、平戸市切支丹資料館、生月町博物館「島の館」、たびら昆虫自然園
○お問い合わせ 観光物産振興課観光振興班 ☎内線2272



◎市役所各課へは代表番号(☎0950-22-4111)からお申し込みします

みんなで育てよう! 未来の緑を
2月27日、平戸市森林組合(宝亀町)で、第2回平戸市育樹祭が、10組23人の親子が参加して開催されました。市木のマキ20本を宝亀町の森林公園に植樹した後、スギとヒノキの間伐材を使った木工教室を開催。講師の指導のもと、のこぎりやカンナかけなどの作業を親子で協力して行い10脚の椅子が完成しました。
ほかにも、ネイチャーゲームやしいたけ試食のバーベキューも行い、親子で森や木に親しむ楽しい1日を過ごしました。



◎市役所各課へは代表番号(☎0950-22-4111)からお申し込みします



募集

INVITATION

「食生活改善推進員養成講座」
受講生を募集します

■ 開催センター健康づくり推進班
☎ 28-11000

食生活改善推進員養成講座を受講し、地域で活動できる人を募集しています。食生活改善推進員とは、『私たちの健康は、私たちの手で』をスローガンに、食育や生活習慣病予防のための食生活の習慣化を目標とした、地域の健康づくりを推進するボランティア団体です。

- と き 平成22年4月から約2年間(約2か月に1回の講座)
- ところ 地区公民館など
- 内容 食生活を中心とした健康づくり講座・調理実習
- 募集人員 30人(先着順)
- 対象 成人女性
- 受講料 無料
- 申し込み方法 4月30日(金)までに保健センターへ電話でお申し込みください。

お知らせ

INFORMATION

固定資産税の第1期納期限を
5月末に統一します

■ 国税務課固定資産税班
☎ 内線2550

平成21年度までの固定資産税の第1期

納期限は、3年に1回の評価替年度が5月末、そのほかの年度が4月末でした。年度によって納期限が変わることにより、市民のみなさんが混乱することを防ぐため、平成22年度から第1期納期限を5月末に統一しました。

4月から郵便局で市税などの
納付ができます

■ 国会計課会計班
☎ 内線2512

市税などの納付が、九州内(沖縄県を除く)の郵便局で納付できるようになりました。

- 納付できるもの
市税、料金などで納付場所として郵便局が記載されている納付書(市県民税、固定資産税、国民健康保険税、軽自動車税、介護保険料、後期高齢者医療保険料、保育料、住宅使用料、水道使用料など)
- ※納税組合は、郵便局で納付することはできません。

「臨時延長窓口」をご利用ください

■ 市民課戸籍住民班
☎ 内線2522

転勤などで異動が多いこの時期、昼間忙しくて来庁できない人のために、臨時

に市民課窓口業務の受付時間を延長します。各種証明書の交付ほか、転入・転出届も受け付けますので、ご利用ください。

- 延長期間 4月9日(金)まで
- ※ただし、土日を除く。
- 延長時間 午後5時15分～午後7時
- 取扱窓口 本庁市民課
- ※予約の必要はありませんが、市民課取扱い事務に限りです。
- なお、本人確認のため運転免許証または保険証をご持参ください。
- また、本人および世帯主以外の人が住所変更など、手続きの内容によって、委任状が必要な場合があります。

狂犬病予防注射と畜犬登録の
ご案内

■ 市民課環境交通班
☎ 内線2527

狂犬病予防集合注射を次のとおり実施します。なお、動物病院でも随時受け付けていますので、予防接種を必ず受け付けてください。

- 実施日程
4月中旬 平戸地区(度島除く)
4月下旬 生月・大島・度島地区
5月中旬 田平地区
- ※詳しい場所と時間は、班回覧にてご確認ください。
- 費用
▼新規登録の場合 6,050円
▼登録済みの場合 3,050円

川内峠インフォメーション
センターがリニューアルしました。

■ 観光物産振興課観光振興班
☎ 内線2274

川内峠のインフォメーションセンターが改修工事を終え、新たにスロープ園路や多目的トイレを設置、バリアフリーに配慮した施設に生まれ変わりました。これからも多くの人が快適に利用できるよう、大切に使用して頂きたいと思えます。

なお、この改修工事は、宝くじの宣伝普及を目的に、(財)日本宝くじ協会から費用の一部助成を受けています。

平成22年度の国民年金保険料が
わかります

■ 長寿保険課国民年金班
☎ 内線2592

平成22年度の国民年金保険料は、月額15,100円です。国民年金には、年度内の保険料をまとめて納めることのできる全期前納制度など、納付方法によってお得な割引が設定されています。

軽自動車税の減免について

■ 国税務課住民税班
☎ 内線2548

身体に障害などがある人に対する軽自動車税の減免制度があります。障害者手帳などをお持ちの人で、一定の要件に該当する人は、軽自動車税の減免が受けられます。詳しくはお問い合わせください。

- 申請期間 平成22年度納税通知書到着後(5月24日(月))
- 申請場所 国税務課住民税班、各支所市民協働課、各出張所

障害福祉サービスなどの利用者
負担額が変わります

■ 福祉課障害福祉班
☎ 内線2564~2566

低所得(市町村民税非課税)の障害者などにつき、福祉サービスおよび補装具にかかる利用者負担が無料になります。ただし、施設に入所(通所)している場合の食費などの実費負担についてはこれまでと変わりません。

なお、現在サービスを利用している人で負担額が変更になる人には、新しい受給者証をお送りしています。

4月から戸別所得補償制度モデル
対策がスタートします

■ 農林課農務班
☎ 内線2261

食料自給率の向上を目指し、水田における生産拡大を促す対策と、恒常的に赤字に陥っている米に対して補てんする対策が、4月から始まります。

水田利活用自給力向上事業

水田で麦・大豆・飼料作物など戦略作物を生産販売する農家・集落営農の皆さんに、作付面積に応じた支援を行います。

米戸別所得補償モデル事業

生産調整実施者かつ水稲共済加入者を対象者として共済細目書などの申告面積に基づき一律10アル当たり15,000円を乗じた額が、指定した口座へ、国から直接交付されます。

ハイチ地震災害義援金のご報告

■ 福祉課総務班
☎ 内線2563

市では、カリブ海地域のハイチで発生した地震の被災地救援のため、1月19日から2月16日までの間、義援金の受付を行いました。市民のみなさんの善意により集められた義援金は、132,401円となり、日本赤十字社を通じて被災地救援活動に役立てられました。

スポーツ安全保険に
加入しましょう

■ 生涯学習課スポーツ振興班
☎ 内線2625

万一に備えて、スポーツなどを始める前にスポーツ安全保険に加入しましょう。

- 対象 5人以上で活動を行うスポーツチーム・ボランティア団体など。
- ※学校管理下における活動は対象となりません。
- 掛金 600円～1,600円(年額)

平戸「YOKARO」
平戸「YOKARO」会員とは、平戸観光協会が募集する、平戸のファン会員です。

年会費3,000円で直行バス乗り放題!
10月1日(木)運行開始。
平戸⇄福岡
1日2往復、毎日運行。

出発	到着
平戸 7:30	福岡 10:00
福岡 10:30	平戸 13:00
平戸 13:30	福岡 16:00
福岡 16:30	平戸 19:00

お問合せ TEL 0950-23-8822
http://www.yokaro.jp

秋の婚礼予約 受付中

Seaside Wedding

平戸海上ホテル

〒859-5102 長崎県平戸市大久保町2231-3
TEL/0950-22-3800 http://hiradokaijyohotel.co.jp

◎市役所各課へは代表番号(☎0950-22-4111)からお申し込みます

◎市役所各課へは代表番号(☎0950-22-4111)からお申し込みます

氏名	生年	死亡	行政区
渡辺 蓮央	昭和28年	平成28年	平戸地区
篠原 莉音	昭和28年	平成28年	平戸地区
南 虎徹	昭和28年	平成28年	平戸地区
富尾 咲菜	昭和28年	平成28年	平戸地区
松森 遥香	昭和28年	平成28年	平戸地区
重富 琥太郎	昭和28年	平成28年	平戸地区
竹岡 歩華	昭和28年	平成28年	平戸地区
飯島 佐佳	昭和28年	平成28年	平戸地区
五嶋屋 大生	昭和28年	平成28年	平戸地区
濱崎 翔吾	昭和28年	平成28年	平戸地区
鈴木 和果	昭和28年	平成28年	平戸地区
川口 拓真	昭和28年	平成28年	平戸地区
たけが 慶次	昭和28年	平成28年	平戸地区
西宮 翼	昭和28年	平成28年	平戸地区
松山 凌輔	昭和28年	平成28年	平戸地区
長嶋 蒼彩	昭和28年	平成28年	平戸地区
橋本 桃義	昭和28年	平成28年	平戸地区
立石 啓太	昭和28年	平成28年	平戸地区
青崎 悠真	昭和28年	平成28年	平戸地区
あおき 瑠伊	昭和28年	平成28年	平戸地区
江口 匠	昭和28年	平成28年	平戸地区
佐藤 孝結	昭和28年	平成28年	平戸地区
綾香 綜峨	昭和28年	平成28年	平戸地区
宅島 颯介	昭和28年	平成28年	平戸地区
平戸地区			

元氣なからに誕生

赤ちゃん 保護者 行政区

氏名	生年	死亡	行政区
山口 章	昭和28年	平成28年	平戸地区
山田 京子	昭和28年	平成28年	平戸地区
野口 エイ子	昭和28年	平成28年	平戸地区
岩永 助幸	昭和28年	平成28年	平戸地区
川崎 房市	昭和28年	平成28年	平戸地区
豊増 幸子	昭和28年	平成28年	平戸地区
西原 サダ	昭和28年	平成28年	平戸地区
山口 宗一	昭和28年	平成28年	平戸地区
山崎 直彦	昭和28年	平成28年	平戸地区
小嶋 コノ	昭和28年	平成28年	平戸地区
中嶋 康雄	昭和28年	平成28年	平戸地区
満村 孝雄	昭和28年	平成28年	平戸地区
木村 義則	昭和28年	平成28年	平戸地区
山口 市太郎	昭和28年	平成28年	平戸地区
川口 徳衛	昭和28年	平成28年	平戸地区
田口 千恵	昭和28年	平成28年	平戸地区
平嶋 リエノ	昭和28年	平成28年	平戸地区
鳥山 喜志子	昭和28年	平成28年	平戸地区
丹澤 恵美子	昭和28年	平成28年	平戸地区
畑原 モモエ	昭和28年	平成28年	平戸地区
鴨川 公男	昭和28年	平成28年	平戸地区
釣谷 昭敏	昭和28年	平成28年	平戸地区
松永 巨巧	昭和28年	平成28年	平戸地区
村井 謙一	昭和28年	平成28年	平戸地区
吉武 米吉	昭和28年	平成28年	平戸地区
青崎 サノ子	昭和28年	平成28年	平戸地区
谷本 伸一郎	昭和28年	平成28年	平戸地区
後藤 ハツエ	昭和28年	平成28年	平戸地区
出口 レイ	昭和28年	平成28年	平戸地区
平戸地区			

■2月末までの火災救急件数
火災 6件 (3件)
救急 260件 (272件)

■2月末までの交通事故
件数 9件(6件)
死者 0名(0名)
負傷者 13名(7名)
(重傷) 2名(軽傷) 11名
()内は昨年同期

■ひろとふれあい福祉基金へ
○岩の上 平野 加代子
○鮎川町 宮崎 幸子

■「やらんば!平戸」
応援寄附金
○匿名希望 1名 10万円
平成22年3月16日現在
28件 2,400,000円
ご協力ありがとうございました。
※敬称略

氏名	生年	死亡	行政区
山本 幸夫	昭和28年	平成28年	平戸地区
山崎 登美子	昭和28年	平成28年	平戸地区
中野 キミ	昭和28年	平成28年	平戸地区
下野 キク	昭和28年	平成28年	平戸地区
須藤 カメ子	昭和28年	平成28年	平戸地区
高野 洋子	昭和28年	平成28年	平戸地区
池田 ツイ子	昭和28年	平成28年	平戸地区
増山 フミ子	昭和28年	平成28年	平戸地区
小澤 シゲコ	昭和28年	平成28年	平戸地区
安田 信子	昭和28年	平成28年	平戸地区
山口 チツ子	昭和28年	平成28年	平戸地区
阿比留 恭治	昭和28年	平成28年	平戸地区
田中 淳史	昭和28年	平成28年	平戸地区
東中 カヨ	昭和28年	平成28年	平戸地区
神田 隆	昭和28年	平成28年	平戸地区
平戸地区			

戒名彫刻・クリーニング
改修・移設・合祀

創業70年お墓のことなら何でもご相談下さい

墓石 松永石碑店 設計製作施工
記念碑

生月町山田免2331 ☎0950-53-2816

SUZUKI 小さな車、大きな未来。

スズキセニアカー ET40

免許不要 カンタン操作
消費税不要 時速2~6km

株式会社スズキ自販長崎
平戸口営業所 平戸市田平町萩田免1439-2
☎0950-57-1152

きてら耳鼻咽喉科医院

診療時間	月	火	水	木	金	土
9:00~13:00	○	○	○~14:00	○	○	○~14:00
15:00~19:00	○	○	-	○	○	-
休診日	日曜・祝日					

〒859-5113 平戸市木引田町414番(きてら薬局2階)
TEL:0950-23-8733 FAX:0950-23-8739

速い!! 簡単!! 便利!!!
お使い道自由! 「はやわさ」
けんみんのフリーローン!
保証人不要

※当商品は保証会社の審査がございます。詳しくは店頭にて説明書、チラシをご用意しております。
※各種ご預金、ご融資のご相談も承っております。

長崎県民信用組合 0120-0892-61
平戸支店 平戸市新町字新町90-3 http://www.kfp-kenmin.co.jp
※土日祝祭日もご相談をお受けしております。詳しくは電話、又は店頭窓口へお尋ね下さい。

第20回台湾親善訪問団の
団員を募集します

団・團社団法人平戸観光協会
☎23・8600

平戸で生まれた英雄、鄭成功の遺徳を
偲び、その功績を顕彰するため、「鄭成功」
ゆかりの地を訪れます。この機会に台湾
との交流を深めてみませんか?
○とき 4月26日(月)~29日(木)
3泊4日

- 行程
- ▼1・2日目 台北視察
- ▼3日目 台南視察
- ▼4日目 鄭成功祖祭典へ参加
- 募集人員 30名(先着順)
- 参加条件 訪問終了後にレポートを提出することが条件です。
- 旅行代金 125,000円
- ※旅行代金のほか、旅券(パスポート)をお持ちでない人は、その取得にかかる費用が必要となります。
- 応募方法 電話・FAX
▼FAX 23・8601

「シーライフひろば」から各教室受講生
募集と営業時間変更のお知らせ

シーライフひろばでは、次のとおりス
イミング教室の生徒を募集しています。
美容、健康づくりに水泳で全身運動を
しませんか?アクアビクス教室では、水

の抵抗や浮力を利用して、健康の保持
増進、生活習慣病などの予防をかねて水
中運動を行います。

- 対象 18歳以上の男女
- 曜日 毎週火・水・木曜日
- 時間 各1時間
- 用具 水着、スイムキャップ、ゴーグルなどを持参してください。
- スイミングスクール
- 内容
- ▼小学生・中学生コース
- 曜日 火・水・木・金・土曜日
- 時間 各1時間
- 幼児コース(定員各10人)
- 期間 第1期(4~6月)、第2期(7~9月)、第3期(10~12月)、第4期(1~3月)
- 料金 週の受講回数によって異なります。詳しくはお問い合わせください。
- 日曜日の営業時間変更について
- 期間 4月~6月、10月~3月
- 営業時間
- ▼変更前 午前10時~午後9時
- ▼変更後 午前10時~午後5時
- ▼第9回平戸お庭めぐりと大曲公家お茶室
復元記念コンサートのご案内
- とき 4月17日(土)・18日(日)
午前10時~午後5時

熊澤三郎記念館(拠点会場)、
志自岐家、内野家、岡村家、川谷家、
大曲公家、梅ヶ谷津備楽園、鮎川家

▼大曲公家お茶室復元記念コンサート
○とき 4月21日(水)午後7時開演
4月22日(木)午後1時開演

○ところ 大曲 公宅(岩の上町291)

○演題 「尺八・箏の調べとともに」

○演奏者 坂田 梁山(尺八)
増田 厚司(箏)

○入場料 2,500円(お抹茶付)
※席に限りがあります、事前予約が必要
です。夜には、庭をライトアップします。

▼講演会
○とき 4月20日(火)午後7時~午
後8時

○ところ 大曲 敦宅(岩の上町117
2・1)

○入場料 500円(要予約)

▼写真展示会
○とき 4月21日(水)~25日(日)午
前10時~午後4時

○ところ 大曲 敦宅(岩の上町117
2・1)

○入場料 無料

神奈川大学名誉教授の西和夫先生を迎
えて、まちづくりについての講演会と写
真展示会を開催します。

▼講演会
○とき 4月20日(火)午後7時~午
後8時

○ところ 大曲 敦宅(岩の上町117
2・1)

○入場料 500円(要予約)

▼写真展示会
○とき 4月21日(水)~25日(日)午
前10時~午後4時

○ところ 大曲 敦宅(岩の上町117
2・1)

○入場料 無料

熊澤三郎記念館(拠点会場)、
志自岐家、内野家、岡村家、川谷家、
大曲公家、梅ヶ谷津備楽園、鮎川家

▼大曲公家お茶室復元記念コンサート
○とき 4月21日(水)午後7時開演
4月22日(木)午後1時開演

○ところ 大曲 公宅(岩の上町291)

○演題 「尺八・箏の調べとともに」

○演奏者 坂田 梁山(尺八)
増田 厚司(箏)

○入場料 2,500円(お抹茶付)
※席に限りがあります、事前予約が必要
です。夜には、庭をライトアップします。

▼講演会
○とき 4月20日(火)午後7時~午
後8時

○ところ 大曲 敦宅(岩の上町117
2・1)

○入場料 500円(要予約)

▼写真展示会
○とき 4月21日(水)~25日(日)午
前10時~午後4時

○ところ 大曲 敦宅(岩の上町117
2・1)

○入場料 無料